

令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第16回）

日 時：令和7年3月19日（水）15:50～

場 所：防災センター（201会議室）

次 第

1 開 会

2 本部長（知事）挨拶

3 議 事

- ・ 創造的復興の実現に向けた取組みについて
- ・ 広域本部・地域振興局からの報告について

4 閉 会

「『緑の流域治水』の推進による1日も早い安全・安心の実現」に向けた取組み

資料 1

【「緑の流域治水」の推進】

○「流域治水プロジェクト」「河川整備計画」の推進・情報発信

	現 在	完了時期
県管理河川施設の復旧	377/394箇所完了 (R7.3末見込み)	R8年度中完了見込み
砂防施設の復旧・整備	260/277箇所完了 (R7.3末見込み)	R8年度中完了見込み
治山施設の復旧・整備	113/172箇所完了 (R7.3末見込み)	R9年度末完了見込み



・流水型ダムについて、**R9年度**ダム
本体基礎掘削工事着手、**R17年度**
の完成を目標に整備推進

川辺川の流水型ダムのイメージ



・川辺川の県管理区間の河川
整備について、**R17年度**の
流水型ダム完成までを目指し、
集中的に取組む

○防災・減災力の強化

・「球磨川リバーミュージアム構想」による地域連携・防災力強化・
環境教育のフィールドを創造

【災害に強い社会インフラ整備】

○国道219号等、球磨川に架かる橋梁の早期復旧

	現 在 (R7.3末見込み)	完了時期
国道219号等の復旧	本復旧工事推進中 ※一部区間でかさ上げ 工事推進中	早期完了に 向け推進
県南地域道路復旧	882/938箇所完了	
橋梁の復旧	残る8橋の復旧工事 推進中（2/10橋完成）	

○道路のリダンダンシー確保



○JR肥薩線・くま川鉄道の早期復旧

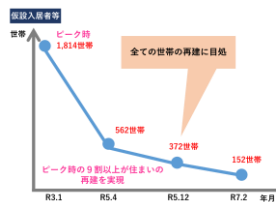
- ・JR肥薩線（八代～人吉間）の鉄道復旧について、JR九州
と最終合意予定
- ・球磨川第四橋梁上部工に着手するなど、くま川鉄道全線
運転再開に向けて復旧工事推進中



【すまい・コミュニティの創造】

○安全・安心な住まいの確保となりわいの再建

	現 在 (R7.3末見込み)	完了時期
応急仮設住宅等入居者数	152世帯256人 (R7.2末時点)	最後のお一人まで寄り 添った支援を継続
災害公営住宅等整備	完 成: 11地区272戸 工事中: 1地区 10戸 計12地区282戸	R7年度中完了見込み
なりわい再建支援補助金に よる施設・設備の復旧	復旧率: 98.6% (決定 511件・完了 504件)	早期完了 に向け実施
農林水産基盤の復旧	農地・農業用施設 818/866箇所完了 林道 347/473箇所完了	R10年度末完了見込み



○ふるさとの魅力あふれるまちづくりとコミュニティの形成

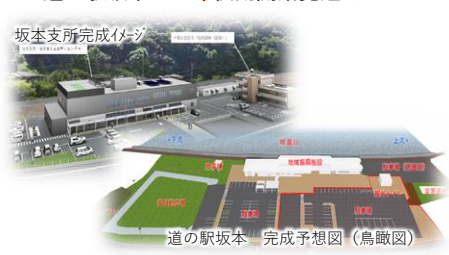
- ・人吉市青井地区・紺屋町土地区画整理事業
⇒**R10年度末完了見込み**
- ・国道445号改築事業⇒**R13年度末完了見込み**



・球磨村におけるまちづくりの取組み



- ・坂本支所⇒**R7年末**完成見込み
- ・道の駅坂本⇒**R9年**供用開始見込み



・相良村における川辺川を活かした拠点づくり



生活再建に向けた支援

- ・「住まい」や「なりわい」について、最後のお一人が再建を果たされるまで、**お一人お一人に寄り添った伴走型支援**を継続。
- ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりに向け、**生活に必要な不可欠な医療提供体制の維持・確保**を推進。

◆「さかもと復興商店街」入居事業者の事業継続に向けた取り組み

八代市において、「さかもと復興商店街」（R7年2月に解散）に入居していた事業者の方々と定期的に意見交換を行っており、事業者が出店できるイベントの情報提供など、**事業継続に向けた機会創出等の支援を継続**。

◆まちづくりと連携した事業再建支援

人吉市では、「**人吉市復興まちづくりデザイン会議**」の取り組みの中で、商工会議所とも連携し、**創業や新規参入、事業継続支援**を検討。

八代市坂本町では、国、県、市が連携して取り組む「**坂本地区かわまちづくり**」において、観光・川遊び拠点施設を整備することを予定。**まちづくりと連携した事業者支援**についても具体策を検討。

球磨村・芦北町では、被災された事業者や宅地高上げ等公共工事の影響を受ける事業者の**休業・再開など、経営スケジュールを見据えて寄り添った支援**を実施。

◆「なりわい再建支援補助金」の継続

公共事業の影響等でやむを得ず申請が遅れる事業者等、**すべての被災事業者の再建が完了するまで、必要な予算を確保するよう国に要望**するとともに、**県でも予算を確保し**、最後までなりわいの再建を支援。



坂本地区かわまちづくり実行委員会の様子



再建した一富出旅館（人吉市）

◆住まいの再建

最後のお一人が住まいの再建を果たされるまで寄り添った支援を継続するとともに、**住まいの再建後も必要な見守りやコミュニティ形成支援を継続**。

災害公営住宅については、八代市坂本町の（仮称）松崎団地の完成をもってすべての整備が完了予定。



住まいの再建後も交流できる場を継続

◆地域に必要な医療提供体制の維持・確保

球磨村では「**球磨村診療所**」の継続、無医地区となっていた八代市坂本町では坂本支所内に「**八代市立坂本診療所（仮称）**」が**開設予定**など、地域に必要な医療提供体制の維持・確保に向けて取り組んでいる。



球磨村診療所



坂本支所（R7.12完成予定）内に診療所開設予定

きめ細かな情報発信

- ・住民の方が地元での暮らしの見通しを立てられ、**生活再建に向けた支えとなるような、きめ細かな情報発信**を実施。
- ・地域にお住まいの住民の方だけでなく、住民に寄り添う関係団体や域外に転出された方々など、**複層的な情報伝達**を推進。

◆八代市坂本地域住民への情報共有に向けた取り組み

国、県、市が連携して進めている**国道219号の高上げや宅地高上げ・輪中堤等の復旧・復興工事**、各工事に伴う**交通規制等の情報**（今後の予定も含む）を**県で取りまとめ、広報誌に折り込む**ことで、**坂本地域全世帯に情報発信**を行う（R7年4月から、2カ月に1回程度を予定）。



国・県・市情報共有会議（R7.3.11）



復興情報チラシ案（イメージ）

◆「地域支え合いセンター」出前講座の実施

被災された方々に寄り添われている地域支え合いセンター職員向けに出前講座を実施し、「**緑の流域治水**」の**取り組み**や、**住民の関心が高い復旧工事の進捗状況等**について丁寧に説明。



八代市地域支え合いセンター



球磨村地域支え合いセンター

◆域外へ転出された方々ともつながりを保つ取り組み

県の復興基金を活用し、**市町村外へ転出された方々への広報誌等の情報提供**など、転出者ともつながりを保つ取り組みを実施。

～未来に夢を持てる地域を“共に創る”取組み～

資料 3

- ・「産業振興」では、八代への新たな県営工業団地の整備をはじめ、**県南地域の産業活性化や雇用の創出を促進**。
- ・「人づくり」では、広域的な課題解決に取り組む**広域連携体制の構築・強化**など、**地域が抱える共通課題にしっかり対応**。
- ・地域と共に「産業振興」と「人づくり」に向けた取組みを重点的に推進し、「人口定着」に向けた**好循環の創出・加速**を目指す。

★球磨川と鉄道の2つのラインを活かした県南地域ならではの観光振興モデルの創出

R7年度策定予定の「球磨川リバーミュージアム構想」を旗印とした球磨川流域ならではの「防災×観光復興」の取組み発信、R8年度上半期中に全線運転再開予定のくま川鉄道や「SL人吉」を活用した賑わいづくり、アニメ「夏目友人帳」など**地域ゆかりのコンテンツ**を活用した**誘客・周遊の促進**等に取り組む。



★八代に新たな県営工業団地の整備

県南地域にも**新たな企業進出の受け皿となる工業団地を整備**（R10年度分譲開始予定）。八代地域のポテンシャルを活かした食品関連企業、半導体関連企業など、**地元の雇用確保や地域の活力につながる企業を積極的に誘致**する。



八代市に整備予定の県営工業団地イメージ

★県南地域への企業誘致促進

市町村が主体的に関わり、企業が連携して行う企業PR、職場環境の改善等の取組みへの支援や、高校生等の職場体験研修を実施するなど、**企業の人材確保や若者の地元定着を図る**。

また、**農業分野**において、市町村と企業等との交流会の開催など、**県南地域への企業参入を加速**する。



IT関連企業の現地視察 (R7.3.3 相良村)

★人吉・球磨地域の広域的な課題解決・人づくりに向けた取組み

人吉・球磨地域に、**県による地域おこし協力隊をR7年度から5名配置**し、人材確保、産業・観光振興などの広域的な課題解決に取り組みながら、**地域の核となる人材育成につながる仕組みづくり**を目指す。

<地域の再生・発展に向けた広域的な取組みの実施体制>



★事業承継等に関する広域的な連携協定

人吉・球磨の10市町村や、商工団体、主要産業である農林畜産業団体、金融機関などが**R7年3月に事業承継に関する連携協定を締結**。地域・分野共に広範囲の団体がそれぞれの強みと経験を活かし、相互に連携・協力しながら、**事業承継に関する課題解決を目指す**。



連携協定締結式 (R7.3.3)

★くまもと林業大学校県南校の機能拡充と持続可能な林業振興の促進

林業大学校県南校の機能拡充に向けた基本構想をR7年度に策定し、より多くの**人材育成・確保**と**林業大学校を核とした産業振興**を推進。また、五木村内の県有林等をフィールドに**先進的な林業施策の導入・実証**を行い、横展開・普及を図ることで、豊富な森林資源をフル活用した**持続可能な林業振興の促進**につなげる。



くまもと林業大学校県南校の拠点施設「林志館」

架線集材の研修状況

令和2年7月豪雨からの 復旧と創造的復興に向けた取組み

令和7年(2025年)3月19日

熊 本 県

■「緑の流域治水」の推進

- 流水型ダムの進捗状況（国による検討内容）・・・7
- 流水型ダムの進捗状況（仕組み）・・・8
- 堆積土砂の撤去など河川の緊急対策（国管理区間）・・・9
- 球磨川における輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況・・・10
- 遊水地（国管理区間）の整備・・・11
- 五木村の振興・・・12
- 相良村の振興・・・13
- 「緑の流域治水」の取り組み等の見える化・・・14
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み・・・15
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み・・・16
- （中園川（球磨村）、井口川（あさぎり町））
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み・・・17
- （川辺川・梶原川（五木村））
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み・・・18
- （川辺川（相良村））
- 万江川流域の土砂・洪水氾濫対策・・・19
- 森林整備、治山対策等による緑の流域治水の推進・・・20
- “いのち”を守る防災・減災力の強化・・・21
- 「球磨川リバーミュージアム構想」策定に向けた取り組み・・・22

■すまい・コミュニティの創造

- 住まいの再建の実現と医療・福祉サービス提供体制の確保・・・25
- 被災事業者の事業再建支援・・・26
- 人吉市におけるまちなか全体の活性化に繋がる復興まちづくりの推進・・・27
- ①青井地区における復興まちづくりの推進・・・28
- ②中心市街地地区における復興まちづくりの推進・・・29
- ③中川原公園における災害復旧の実施・・・30
- ア・ボ・リス事業を活用した「川辺川魅力創造事業」の取り組み・・・31
- 「八代警察署坂本駐在所」再建・・・32

緑の流域治水



■災害に強い社会インフラ整備

- 国道219号等の早期復旧に向けた取り組み・・・35
- 国道219号等の早期復旧に向けた取り組み（道路）・・・36
- 国道219号等の早期復旧に向けた取り組み（橋梁①）・・・37
- 国道219号等の早期復旧に向けた取り組み（橋梁②）・・・38
- くま川鉄道復旧の取り組み・・・39
- JR肥薩線復旧の取り組み・・・40

■観光を軸とした創造的復興の実現

- 豪雨被災地域への観光誘客・・・43
- 台湾インバウンドの誘客強化・・・44
- 地域の文化・歴史・自然・アニメ等を活用した誘客・周遊促進・・・45
- 球磨焼酎の魅力発信及び販路拡大・・・46

■地域の特色を活かした産業活性化と雇用の創出

- くまもと林業大学校県南校の機能拡充と持続的な林業振興の促進・・・49
- 森林ビジネス産業の展開と森林環境教育を通じた関係人口創出・・・50
- 県南フードパレ構想の推進及び企業の農業参入促進・・・51
- 新規県営工業団地（八代市事業区）の整備・・・52
- 県南地域への企業誘致促進・・・53
- 人吉・球磨地域の広域的な課題解決・人づくりに向けた取り組み・・・54

■若者が定着・還流する環境の創造

- 「若者が定着・還流する環境の創造」に向けた取り組み・・・57
- 地元企業等と連携した奨学金の返還サポート・・・58
- 事業承継等の支援による地域経済と雇用の維持・発展・・・59
- 若者の地元定着促進・・・60
- 県内高校卒業生のUターン等の促進・・・61

■プランの実現に向けて

- 復興基金を活用した市町村支援・・・65

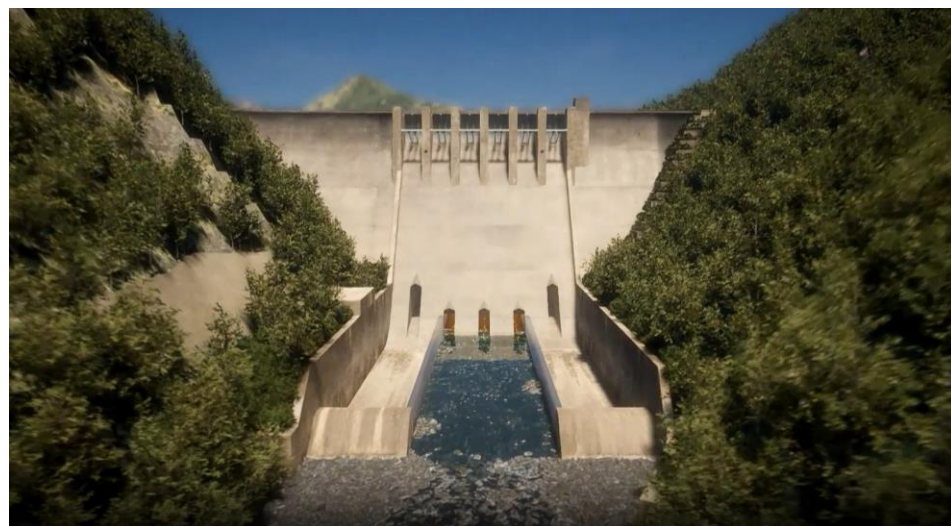
◆「緑の流域治水」の推進

流水型ダムを進捗状況(国による検討内容)

球磨川流域復興局

- 流水型ダムは、**R9年度の本体工事着工**、**R17年度の完成**が目標。
- 国は、令和3年から行ってきた法と同等の環境アセスメントの最終報告書となる「環境影響評価レポート」【補正後】を、令和6年10月11日に公表。11月11日まで縦覧が行われ、**手続きは全て完了**。今後、学識者からなる検討会を設置し、環境保全措置の具体化等の技術的検討を実施。
- また、五木村の振興策を実現するための平場の造成や、付替村道の整備等の**生活再建工事**が進められる。なお、2月28日から五木東小学校前の平場の整備を開始。
- さらに、流水型ダムの理解が深まるよう、**大型模型や仮想空間技術を活用した説明等**を引き続き実施。今後も事業の進捗に応じて関係機関と連携して、説明会等が実施される予定。

〔流水型ダムの完成イメージ（ダム下流から望む）〕



〔流水型ダムの整備スケジュール〕

	R6	R9	R17
環境保全対策	評価レポート作成・公表	環境保全措置の具体化/現場実装 動植物のモニタリング	
ダム本体工事	設計（模型実験等）	本体施工方法等検討	基礎掘削工事開始 ダム本体打設 試験湛水
生活再建工事	付替村道（未施工区間の整備） 平場造成（協議が整った箇所から順次整備）		
斜面安定対策	地質調査の結果、地すべり発生の可能性がある箇所において、順次対策を実施		



川辺川ダム砂防事務所HP「流水型ダムに関して理解を深めて頂くための取り組み」（超大型水理模型の実験の様子・仮想空間でダムを再現したイメージ動画等）はこちら

流水型ダムの進捗状況(仕組み)

○環境アセスメント手続きの完了等を踏まえ、県では、12月7日に「**新たな流水型ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み**」第3回会議を開催。

○会議では、国から、流水型ダムの**環境影響の最小化に向けた取組み**として、ダム操作の工夫や水理模型による構造の検討状況等を説明。また、過去の会議で構成員から御意見が多かった**森の現状や土砂・流木対策**について、**農林水産部・土木部から説明**を行い、構成員と意見交換を実施。

○会議内容は後日、**新聞広告**により広く県民に周知。

第3回会議の様子



環境影響最小化のためのダム操作の工夫

ダム操作の変更前



ダム操作の変更後

5m
低下
最高
水位が



五木村頭地付近(10年に1度の冠水シミュレーション)

森の現状や土砂・流木対策
(農林水産部・土木部 説明資料)



新聞広告

(1/25熊日(見開き)・1/28人吉新聞(折込))

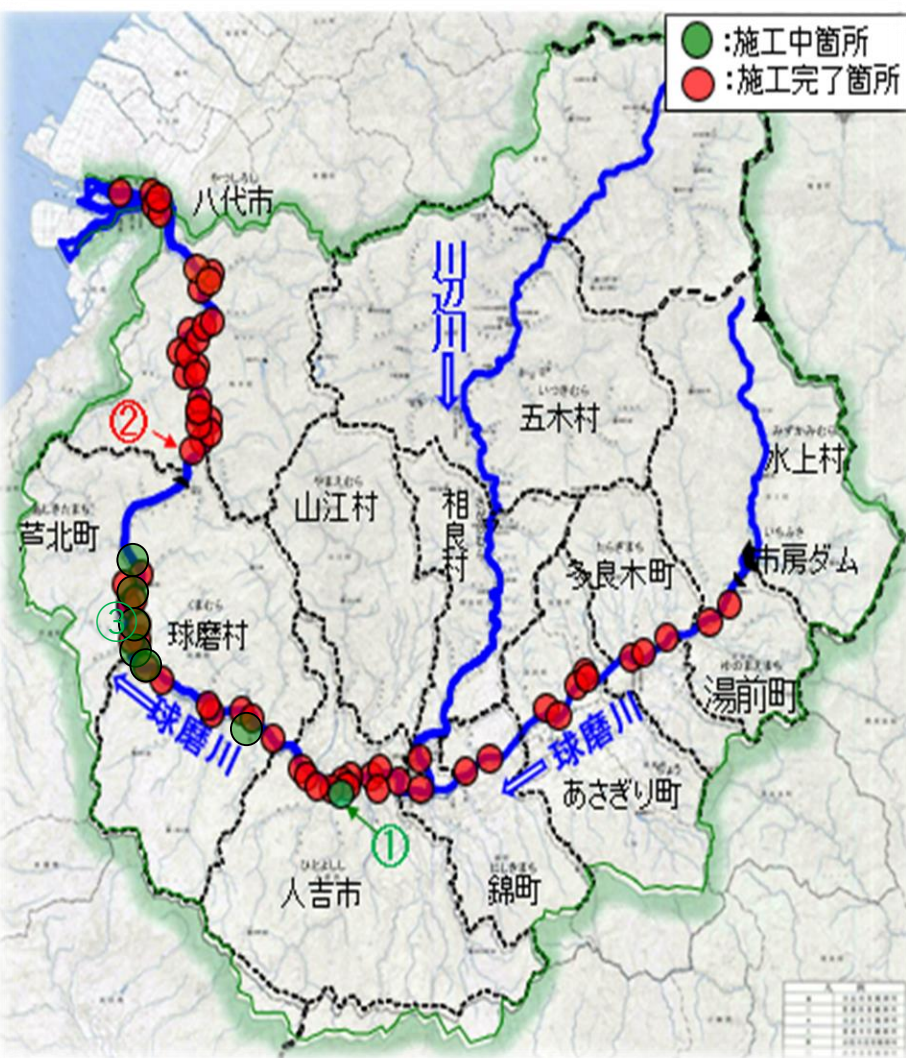


堆積土砂の撤去など河川の緊急対策(国管理区間)

球磨川流域復興局

- 令和2年7月豪雨以降、球磨川河道内の掘削を行っており、令和7年1月末現在で約244万 m^3 を撤去。(※)
- 今後も、球磨川河道内の掘削を継続して行っていく。

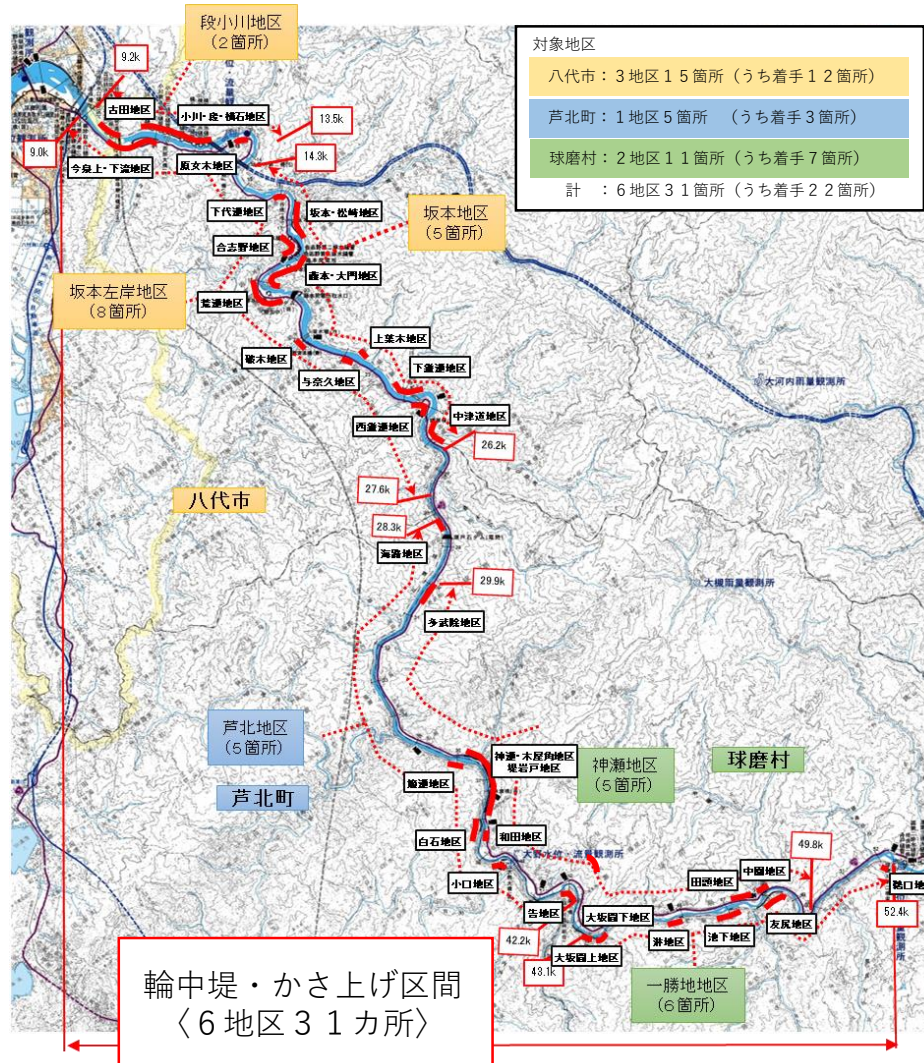
(※) 令和2年7月豪雨で堆積した土砂(推定)約125万 m^3 は、令和4年1月末に掘削完了。更に令和7年1月末までに約119万 m^3 を掘削(進捗率:約25%、流域治水プロジェクト:約119万 m^3 /計画:約480万 m^3)



球磨川における輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況

球磨川流域復興局

- 県及び関係市町村と連携を図ったうえで、対象となる各地区で事業説明会等を令和3年3月から順次開催(3市町村計403回開催 ※令和7年1月末現在)。
- 事業説明会にて施工計画やスケジュール、補償について説明を実施。
- 八代市、球磨村、芦北町、**全31箇所のうち22箇所で工事に着手し、うち6箇所で工事が完了。**



藤本地区宅地嵩上げ地元説明 (R7.1.14)
【八代市藤本地区】



白石地区工事進捗状況1月末時点
【芦北町白石地区】



下今泉地区工事進捗状況1月末時点
【八代市下今泉地区】



友尻地区工事進捗状況1月末時点
【球磨村友尻地区】

遊水地(国管理区間)の整備

- 遊水地の整備について、相良村柳瀬地区で令和5年8月、球磨村渡地区で令和6年9月に着工。
- その他の地区においても、説明会等を実施し、工事着手に向けた住民との協議が進められている。
- また、関係市村、国及び県で連携し、平常時の利活用についても検討が進められている。

工事の進捗状況

- 人吉市中神地区 R6.10住民説明会開催
- 人吉市大柿地区 R6.6住民説明会開催
- 球磨村渡地区 R6.8着工式開催、施工中
- 相良村柳瀬地区 施工中

相良村柳瀬地区 (R7.1末時点)



球磨村渡地区 (R7.1末時点)



平常時利活用の検討

◆「遊水地利活用に向けた実務者会議」による連携した検討

- R6.5 上記遊水地の利活用について 情報共有を図るため、国、県及び関係市村（人吉市、球磨村、相良村）で会議を実施。
- R7.2 会議構成員で麻機遊水地（静岡県）を視察。

◆各地域での利活用検討

- 人吉市中神地区
 - ・住民ワークショップ開催 (R6.2)
- 球磨村渡地区
 - ・村長及び村議会議員先進地視察 (R6.12)
坪井川遊水地（熊本市）及び白銀川調節池（福岡県大牟田市）を視察。
- 相良村柳瀬地区
 - ・村で利活用のイメージ図を作成。

人吉市中神地区ワークショップ



球磨村長等視察（白銀川調節池）



実務者会議視察（麻機遊水地）



実務者会議視察（麻機遊水地）



五木村の振興

球磨川流域復興局

R6.7.16 “ひかり輝く” 新たな五木村振興計画の一部改訂等に関する確認式

※村長、村議会議員／知事／九州地方整備局長 の三者で計画確定を確認



誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が集まる「“ひかり輝く” 新たな五木村」の実現を目指して

振興計画に位置付けられた主な取組み

新たな平場整備の取組み



道路ネットワークの強靱化・ リダンダンシーの確保の取組み



命・財産を守る気候変動に対応した

土砂撤去状況(宮園橋上流)



流域治水の推進

川づくりの整備イメージ(宮園地区)



※整備イメージであり変更となる可能性があります

住民主体のまちづくりの取組み



少人数教育を生かした人材の育成・ 子育て環境充実の取組み



くもと林業大学校の 機能拡充に向けた検討



共創

～新たな民間主導の動き～
五木村の未来を考える若手村民発
「過疎未来研究会」誕生

過疎未来研究会 公開研究会(R7.1)



【推進体制の見直し】

- 令和6年12月に策定された「くまもと新時代共創基本方針」に相良村の振興を位置づけ、相良村の振興に向けた取組みを更に強力に進めていくため、**知事を本部長とする相良村振興推進本部へ、推進体制を強化。**



主な取組み

国道445号の道路改良 川辺川の河川整備



5 緑の流域治水の推進と五木村・相良村振興、水俣病問題への対応

- (1)「命と清流を守る」緑の流域治水の推進と五木村・相良村振興
・清流全体の総合力で安全・安心を実現する「緑の流域治水」の推進
・「命と清流を守る」新たな流水型ダムの整備推進
・流水型ダムの建設により影響を受ける五木村・相良村の振興

くまもと新時代共創基本方針に
「相良村振興」を位置づけ

くまもと新時代共創
総合戦略
令和6年(2024年)12月
第 本 編

農地の基盤整備

基盤整備検討範囲



基幹林道(四浦西線)の整備

R7事業計画図

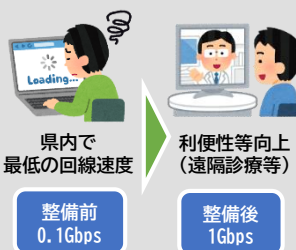


R6地域づくり夢チャレンジ推進補助金活用



川辺川魅力創造事業

情報通信基盤整備支援事業



「緑の流域治水」の取組み等の見える化

球磨川流域復興局

【取組みの概要】

- 「緑の流域治水」について、球磨川流域住民をはじめ広く県民に情報を発信するための見える化の取組みとして、**「緑の流域治水」の取組みを分かりやすく伝える動画や模型などを制作。**
- 令和6年度は、これらのコンテンツを活用し、**球磨川流域市町村の小中高生に対する出前授業や流域市町村職員に対する研修会、地域支え合いセンターでの出前講座等を実施。**
- また、各防災イベント等やくまもと防災ウィークでのパネル展示やSNSによる情報発信により県民に広く周知

出前授業



人吉高校（7/4実施）

実績:13校（延べ約820名）

出前授業など

市町村職員研修会



八代市（2/10実施）

実績:3市村（延べ約420名）

地域支え合いセンター出前講座

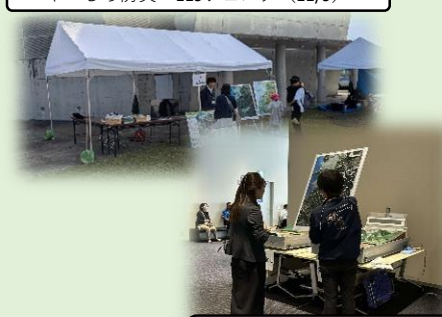


球磨村（12/19実施）

実績:2カ所（延べ約25名）

ブース出展

やつしろ防災・119フェスタ（11/9）



「世界津波の日」高校生サミット（10/23~24）

SNSによる情報発信

Instagram



SNS広告



R6年度制作コンテンツ

授業用動画

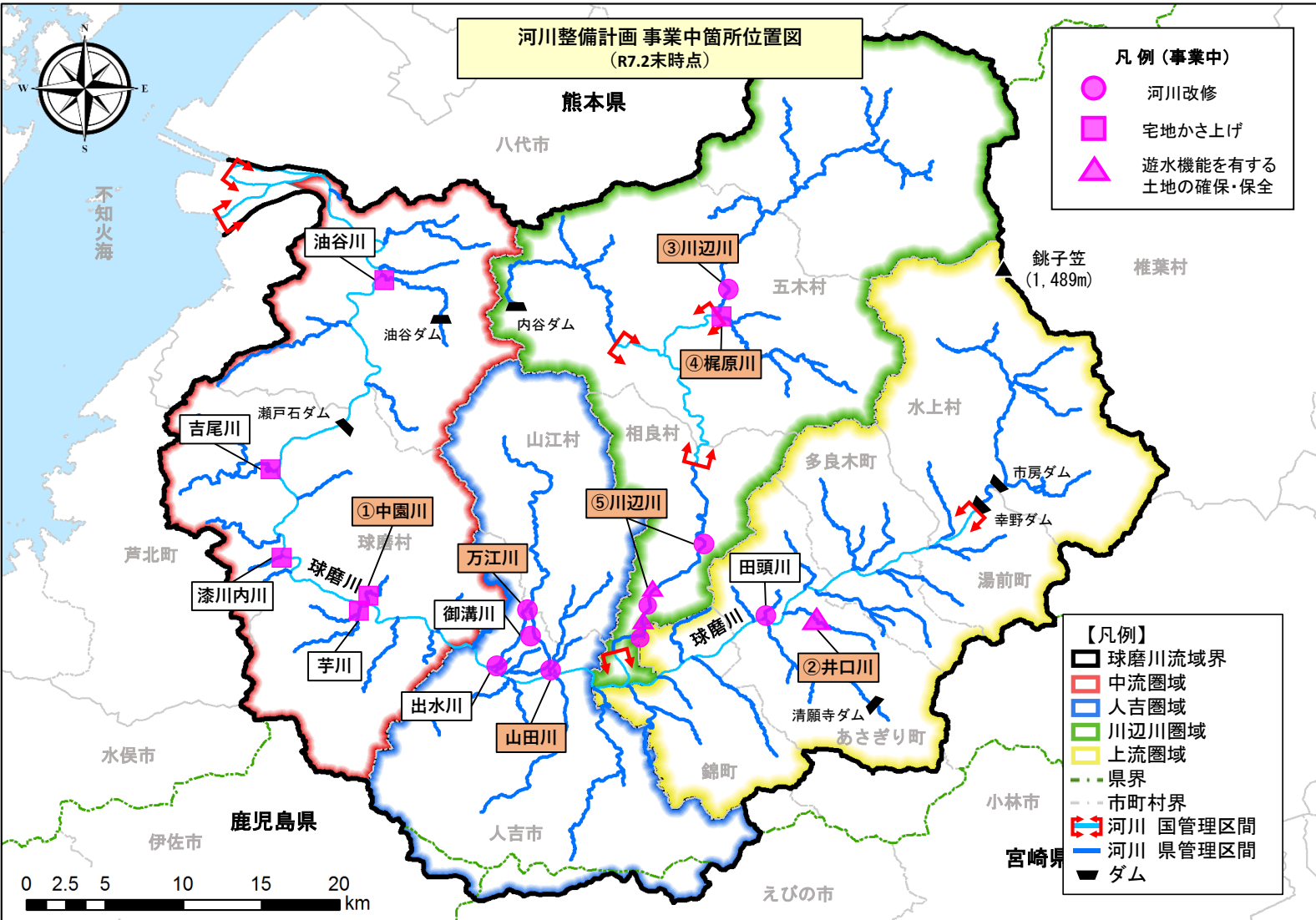


授業用テキスト



学校独自で「緑の流域治水」の授業ができるように、動画やテキスト等の教材を制作。

○「命」と「環境」を両立させる「緑の流域治水」の実現に向けて、河道の流下能力の向上に資する河道掘削、築堤等の整備を実施するとともに、更なる水位低下に向けた遊水機能を有する土地の確保・保全、家屋への浸水被害の軽減を図る宅地かさ上げ等に取り組む。



球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み

土木部

(①中園川(球磨村)、②井口川(あさぎり町))

【取り組みの概要】

- 中園川（球磨村）では、宅地の浸水被害を解消するため、球磨村復興まちづくり計画と連携した宅地かさ上げ工事を推進。
- 井口川（あさぎり町）では、遊水機能を有する土地の整備を行い、あさぎり町等と連携しながら利活用を含めた計画検討を推進。

【令和7年度の取り組み】

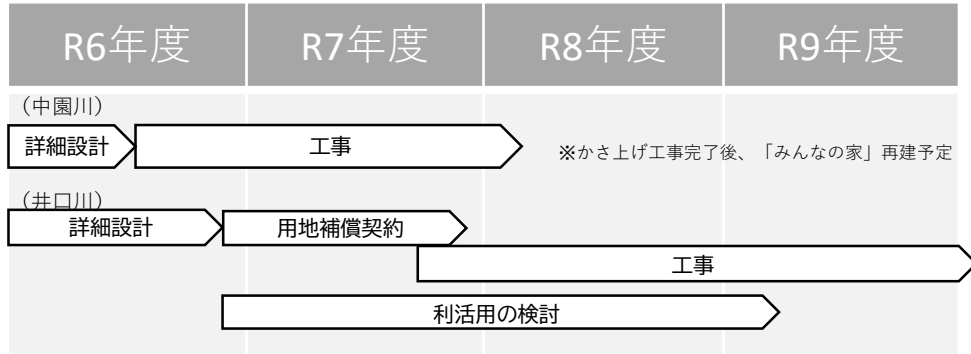
- 中園川では、令和6年11月に工事着手しており、引き続き、整備を推進。令和7年度に完成。
- 井口川では、引き続き用地買収を推進し、一部工事着手。
並行して、利活用についてあさぎり町等と協議を実施。

<事業名・予算>

河川改良（緊急自債）事業（単県）・井口川 20,000千円
（中園川については、R6予算で完了）



【ロードマップ】



球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み

土木部

(③川辺川、④梶原川(五木村))

【取り組みの概要】

○村の「“ひかり輝く” 新たな五木村振興計画」の目指す姿の実現に向け、川辺川（五木村宮園）では河川改修と国道445号の道路改良を実施するとともに、梶原川（五木村竹の川）では宅地かさ上げや河川改修、県道五木湯前線の道路改良を実施。

【令和7年度の取り組み】

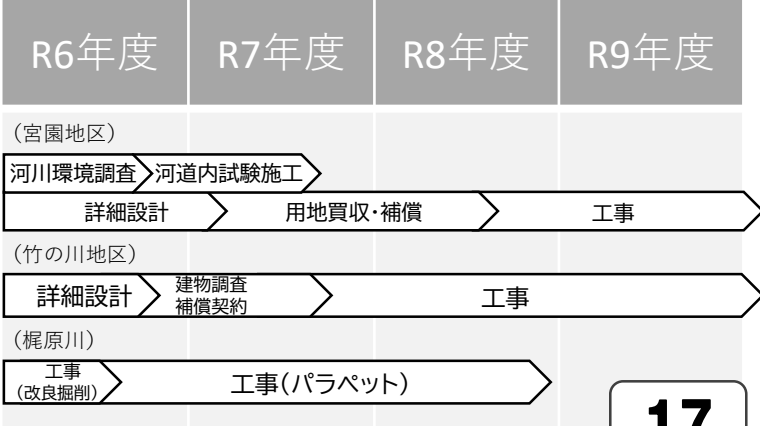
○宮園地区では、河道内試験施工及び下流側から用地買収や補償協議を実施するとともに、引き続き、地元のご意見を伺いながら多自然川づくりの取り組みを推進。
○竹の川地区では、引き続き、宅地かさ上げの補償協議を実施するとともに、一部の宅地かさ上げ工事やパラペット（高さ1m程度のコンクリート擁壁）工事に着手。

<事業名・予算>

広域河川改修事業（交付金）・川辺川 70,000千円、
土地利用一体型水防災事業（交付金）・梶原川 120,000千円
河川改良（緊自債）事業（単県）・川辺川、梶原川 90,000千円



【ロードマップ】



※整備イメージであり変更となる可能性があります

(⑤川辺川(相良村))

【取り組みの概要】

○村が掲げる「相良村復興計画」の基本理念である未来につなげるむらづくりの実現に向け、川辺川（相良村）では河川改修や遊水機能を有する土地の確保・保全を実施。

【令和7年度の取り組み】

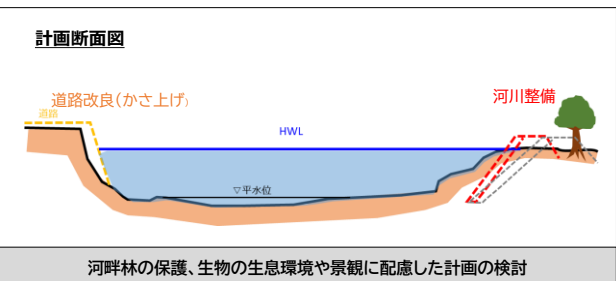
- 河川改修（平川地区）では、**河川護岸工事を推進**。
（国道445号(四浦東地区)の道路改良(かさ上げ)と連携。）
- 河川改修（永江・前田・境田地区）では、**用地測量に着手**。
- 遊水機能を有する土地（黒石・下鶴地区）では、**周囲堤工事を推進**するとともに、引き続き、村と利活用の検討を実施。

<事業名・予算>

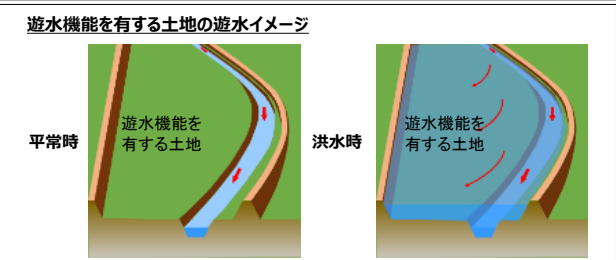
広域河川改修事業（交付金）・80,000千円、大規模特定河川事業（補助）・100,000千円
河川改良（緊自債）事業（単県）・170,000千円



河川改修（平川地区）

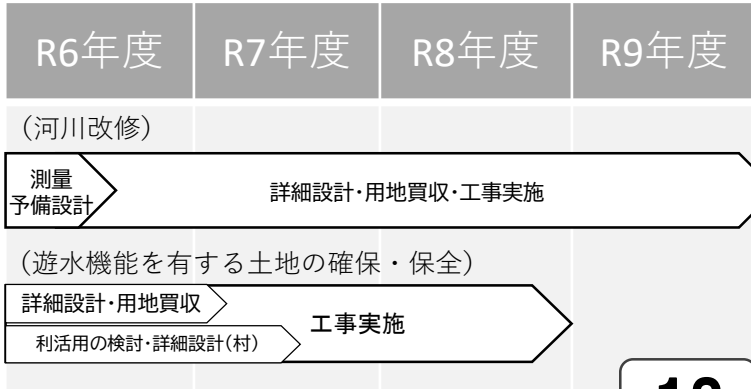


着工式の開催（R7.1.26）



遊水機能を有する土地の遊水イメージ

【ロードマップ】



万江川流域の土砂・洪水氾濫対策

土木部

【取組みの概要】

- 令和2年7月豪雨では、万江川流域内で土砂・洪水氾濫（※）が発生。今後の気候変動により激甚化する大規模な出水で再び土砂・洪水氾濫が発生する可能性が高く、流域住民の安全・安心を確保するため、**「砂防」「河川」「治山」の3事業が連携し流域全体で土砂・洪水氾濫対策（都道府県としての取組みは全国初）**に取り組む。

※土砂・洪水氾濫とは

豪雨により上流域から流出した土砂が下流の河道に堆積することで、河床上昇・河道閉塞が引き起こされ、土砂と泥水の氾濫が発生する現象。

【令和7年度の取組み】

- 砂防：砂防堰堤の測量設計、用地買収及び工事（屋形地区、合子俣地区、水無地区）
渓流保全工の測量設計（熊の原地区、尾寄崎地区）
- 河川：河川改修の測量設計
- 治山：流木捕捉工の測量設計（川平地区、葛地区）

＜事業名・予算＞

砂防：大規模特定砂防事業（補助）・410,000千円、河川：防災・安全交付金事業（交付金）・10,000千円

治山：予防治山事業（交付金）・20,000千円

【砂防・河川・治山事業が連携した対策のイメージ】



【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
○砂防（砂防課）			
・砂防堰堤（屋形地区） 詳細設計、用地買収	用地買収、工事		
・砂防堰堤（合子俣地区、水無地区） 測量、予備設計	詳細設計	用地買収、工事	
・溪流保全工（熊の原地区、尾寄崎地区） 測量、詳細設計	用地買収・工事		
○河川（河川課）			
測量、予備設計	詳細設計	用地買収・工事	
○治山（森林保全課）			
・流木捕捉工（川平地区、葛地区） 測量、詳細設計	立木補償・工事		

「緑の流域治水」の考えに基づき、砂防・河川・治山事業を効果的に組み合わせ、流域全体で総合的な土砂・洪水氾濫対策計画を策定し、実施する。

【取組みの概要】

- 再造林面積の拡大に取り組む事業体に対する支援(未経験者雇用、既存補助金への追加支援)の実施
- 林地保全に配慮した林業の推進に向けたガイドラインのアップデート及び研修会の開催
- 既設治山ダムの復旧及び異常堆積した土砂・流木の撤去
- 緊急に復旧すべき山地崩壊箇所における治山対策の実施
- 田んぼダム等、農地・農業用施設をフル活用した流域治水の取組み

計画箇所数の85%で事業完了

計画箇所数の65%で事業完了

【令和7年度の取組み】

- 再造林面積の拡大に取り組む事業体に対する支援(継続)
- 林地保全に配慮した林業(架線集材)に取り組む事業体に対する支援等
- 既設治山ダムの機能回復及び山腹崩壊箇所の復旧整備
- 緑の流域治水に資する治山対策の実施
- 田んぼダムの県内全域への普及と水利施設における事前放流の取組み推進

＜事業名・予算＞

- ・ 森林再生支援事業 30百万円
- ・ くまもとの県土を保全する林業推進事業 8百万円
- ・ 治山激甚災害対策特別緊急事業 2,346百万円
- ・ 過年治山災害復旧事業 656百万円
- ・ 治山事業(流域保全総合治山事業) 1,187百万円



架線集材の実施状況

百太郎溝における事前放流の取組み



田んぼダムマイスター研修会
(R7.2)



事前放流前(満水)



事前放流後(水位低下)

【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
再造林面積拡大への支援			
ガイドライン・研修会	林地保全に配慮した林業に対する支援		
治山激特事業による山地崩壊箇所の復旧			
過年治山災害復旧事業による施設機能回復			
流域保全総合治山事業の実施(球磨南部、五木地区: R4~R8、五家荘地区: R6~R10)			
田んぼダムの県内全域への普及、水利施設における事前放流の取組み推進			

治山激特事業: 芦北町(谷町地区)

“いのち”を守る防災・減災力の強化

知事公室

○自助・共助・公助の観点から、“いのち”を守る「防災・減災力の強化」に取り組んでいく。

自助

【取組みの概要】

○マイタイムラインの普及促進等により、県民の防災意識の啓発や早めの避難（予防的避難）の促進を図る。

【令和7年度取組み】

- 教職員向け防災教育研修会を開催
- 県広報媒体でマイタイムライン作成を呼び掛け
- 多言語版マイタイムラインガイドブックを普及

<事業名・予算>

- ・自助力強化推進事業
: 5,783千円（一財・国交付金）
- ・防災センター展示・学習室運営事業
: 16,949千円（一財）



教職員向け
防災教育研修会

【ロードマップ】

R6年度

R7年度

R8年度

R9年度

自助

・マイタイムラインの普及 ・展示・学習室での防災学習

共助

・地域防災リーダーの育成（火の国ぼうさい塾等の開催） ・住民参加型訓練の実施の支援 ・地区防災計画の作成等の支援 ・展示・学習室での防災学習（再掲）

公助

・衛星通信設備の整備 ・防災行政無線設備の浸水対策

・豪雨対応訓練の実施

共助

【取組みの概要】

○自主防災組織を担う地域防災リーダー（防災士）の育成や自主防災組織活動支援員による支援等を行い、地域防災力の強化を図る。

【令和7年度取組み】

- 火の国ぼうさい塾等を開催
- 住民参加型訓練の実施を支援
- 地区防災計画の作成等を支援

<事業名・予算>

- ・地域防災力強化事業
: 10,460千円（一財・ふるさとくまもと応援寄附基金）
- ・防災センター展示・学習室運営事業（再掲）
: 16,949千円（一財）



火の国ぼうさい塾
（避難所運営訓練）

公助

【取組みの概要】

○防災情報通信基盤を整備し、被災自治体等と県との防災通信体制を一層強靱化・多重化する。
○県・流域市町村合同で、豪雨対応訓練を毎年度実施し、出水期までに初動対応力の強化を図る。

【令和7年度取組み】

- 衛星通信設備の整備及び防災行政無線設備の浸水対策を実施
- 市町村だけでなく関係機関にも参加を呼びかけ、実際に近い形で豪雨対応訓練を実施

<事業名・予算>

- ・防災情報通信基盤整備事業
: 665,220千円（一財・緊急防災減災事業債）
- ・防災対策費
: 20,960千円（一財等）



豪雨対応訓練風景
（於：県防災センター）

「球磨川リバーミュージアム構想」策定に向けた取り組み

球磨川流域復興局

【取り組みの概要】

- 球磨川流域で行われている「川との共生」をテーマにした防災と観光復興の（川の恵みを活かす）取り組みをつなぎ、「球磨川リバーミュージアム」を旗印として流域内外に発信するもの。
- 地域防災力の向上や流域で暮らす価値・魅力を再認識いただくとともに、流域にしかない特別な体験・価値を創出することで交流人口の増加を図ることを目指す。

【令和7年度の取り組み】

- 令和6年度に国・県・流域市町村でとりまとめた基本構想（素案）に基づき、「球磨川リバーミュージアム」の方向性を流域に広く発信するキックオフフォーラムを実施。
- 令和7年度は、行政のみならず観光、教育等の関係団体や住民等を対象とした勉強会や、ワークショップを実施し、意見やアイデアを集約した上で、基本構想を策定する。

<事業名・予算>

- ・「球磨川リバーミュージアム構想」推進事業（単県）：6,000千円

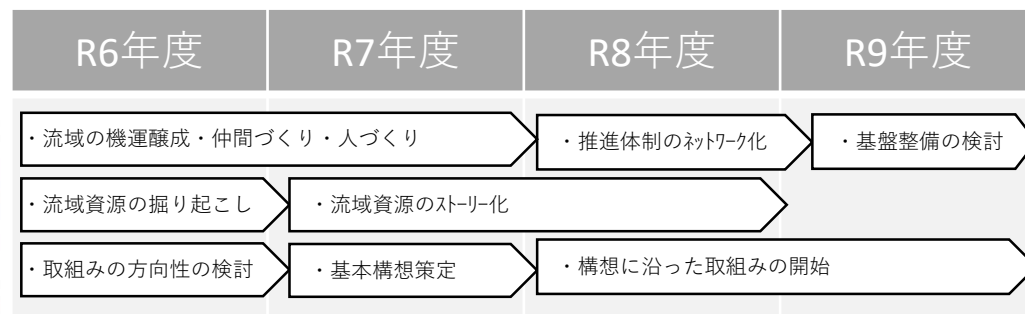
構想素案



勉強会の様子



【ロードマップ】



◆すまい・コミュニティの創造

住まいの再建の実現と医療・福祉サービス提供体制の確保

【取組みの概要】

- 市町村や地域支え合いセンター等と連携し、伴走型で住まいの再建を支援。ピーク時（1,814世帯）の9割を超える世帯が再建を実現しており、残る152世帯（256人）も再建の目処が立っている。
- 木造仮設住宅の約5割（356戸）が市町村に譲渡され、住まいの再建先等として利活用されている（予定含む）。

【令和7年度の取組み】

- 令和7年5月頃までに残る152世帯のうち約9割が改修後の木造仮設利活用住宅等で再建の見込み。
- 残る約20世帯についても最後のお一人が住まいの再建を果たされるまで、寄り添った支援を継続する。
- 住まいの再建後も、市町村地域支え合いセンター等が行う災害公営住宅入居者等の必要な見守り・支援や、住民主体のコミュニティ形成を支援する。
- 関係市町村と連携し、球磨村や八代市坂本町など被災地の方々が安心して医療・福祉サービスを受けられる体制につなげる。

＜事業名・予算＞

・住まいの再建支援事業：76,400千円 ・熊本県地域支え合いセンター支援事務所運営事業：23,500千円



仮設住宅を住まいの再建先として改修



住まいの再建後も交流できる場を継続

【応急仮設住宅等入居者住まいの再建ロードマップ（R7.4以降）】

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
R7.5月頃までに再建完了	(※) ※人吉市：木造利活用住宅、災害公営住宅（大工団地・九日団地）				
公共事業の影響や災害公営住宅の完成待ちで未再建の世帯（約20世帯）	八代市坂本町災害公営住宅（松崎地区）				
	球磨村宅地整備事業（塚ノ丸団地）				
	宅地嵩上げ事業（八代市、球磨村）				
	人吉市土地区画整理事業				

【取組みの概要】

- 「なりわい再建支援補助金」による被災事業者の施設・設備の復旧を支援
 - 補助金の活用を希望される被災事業者全ての事業再建に向け、最後の1者まで支援を継続
- 補助金交付決定：511件 復旧完了：504件 （完了率98.6%）

【令和7年度の取組み】

- 公共事業（人吉市の土地区画整理事業等）の影響により、やむを得ず令和6年度までに申請できなかった事業者（残り7件）に対する支援を実施

＜事業名・予算＞

- ・なりわい再建支援事業：1,370,134千円（R6年度2月補正＋R7年度当初）

【復旧状況（例）】



（被災時）



（復旧後）

【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
・全ての事業再建が完了するまで支援を継続			

- ① 青井地区 青井被災市街地復興土地区画整理事業(県)及び国道445号改築事業(県)を一体的に実施。
 - ② 中心市街地地区 紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業(市)及び山田川広域河川改修事業(県)を一体的に実施。
 - ③ 中川原公園の復旧 中川原公園について都市災害復旧事業(市)を実施。
- (参考)かわまちづくり 利用者・地域住民・市民活動団体・企業・地域自治体・河川管理者等が協力しあって、人吉市のまちづくりと連携しながら球磨川の水辺空間を活かした“球磨川・人吉地区かわまちづくり”を推進。

① 青井地区の復興まちづくり整備計画案



② 中心市街地地区の復興まちづくり整備計画案

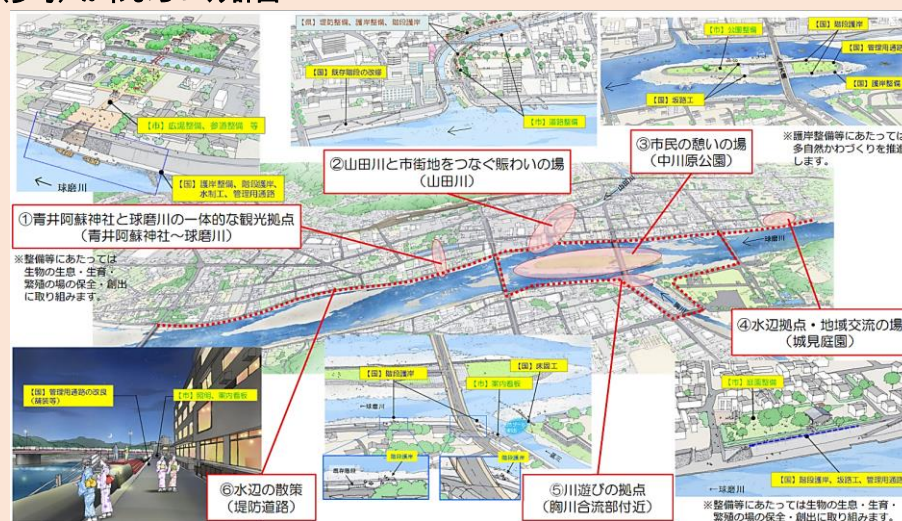


③ 中川原公園の復旧

※R7.2現在



(参考) かわまちづくり計画



凡 例

- 被災市街地復興推進地域
- 土地区画整理事業区域

①青井地区における復興まちづくりの推進

土木部

【取組みの概要】

○土地区画整理、国道445号改築及び“かわまちづくり”の一体的な整備により被災市街地の復興を推進。

【令和7年度の取組み】

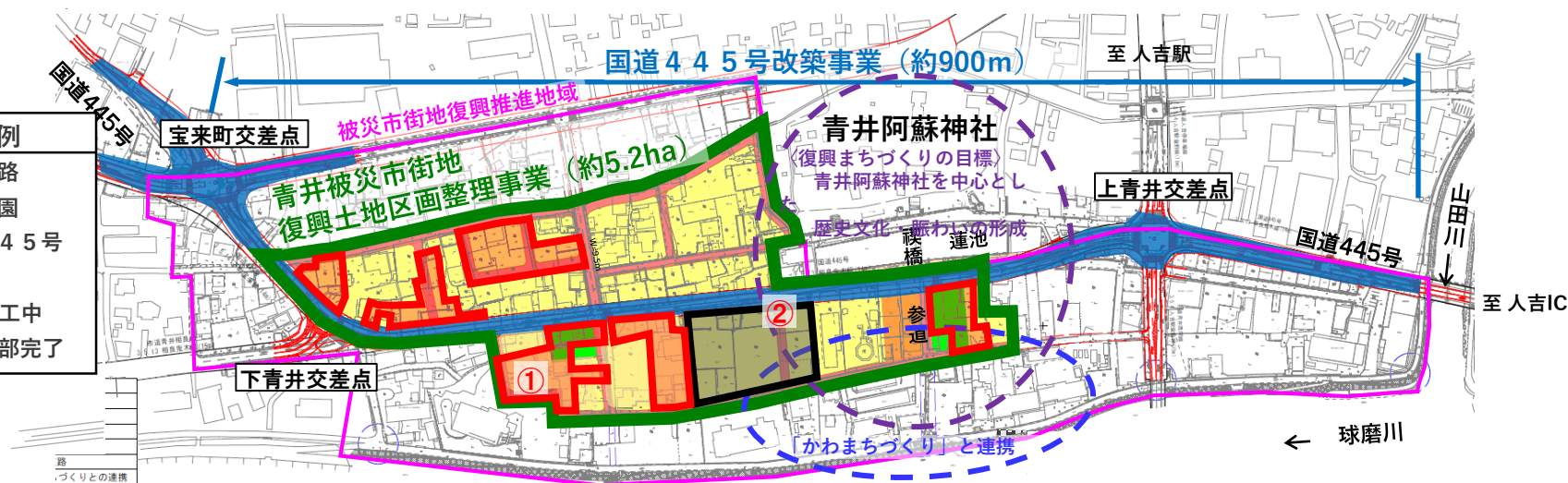
○土地区画整理は、令和6年11月までに全ての仮換地指定を完了させており、

令和10年度の完了に向けて、引き続き、移転補償や造成工事を推進。

○国道445号改築は、令和13年度の完了に向けて、引き続き、用地取得や道路改良工事(拡幅)を推進。

<事業名・予算>

○青井被災市街地復興土地区画整理事業・963,300千円 ○国道445号改築事業・735,550千円



区画道路、宅地造成工事の状況



整備済の区画道路

【ロードマップ】



②中心市街地地区における復興まちづくりの推進

土木部

【取組みの概要】

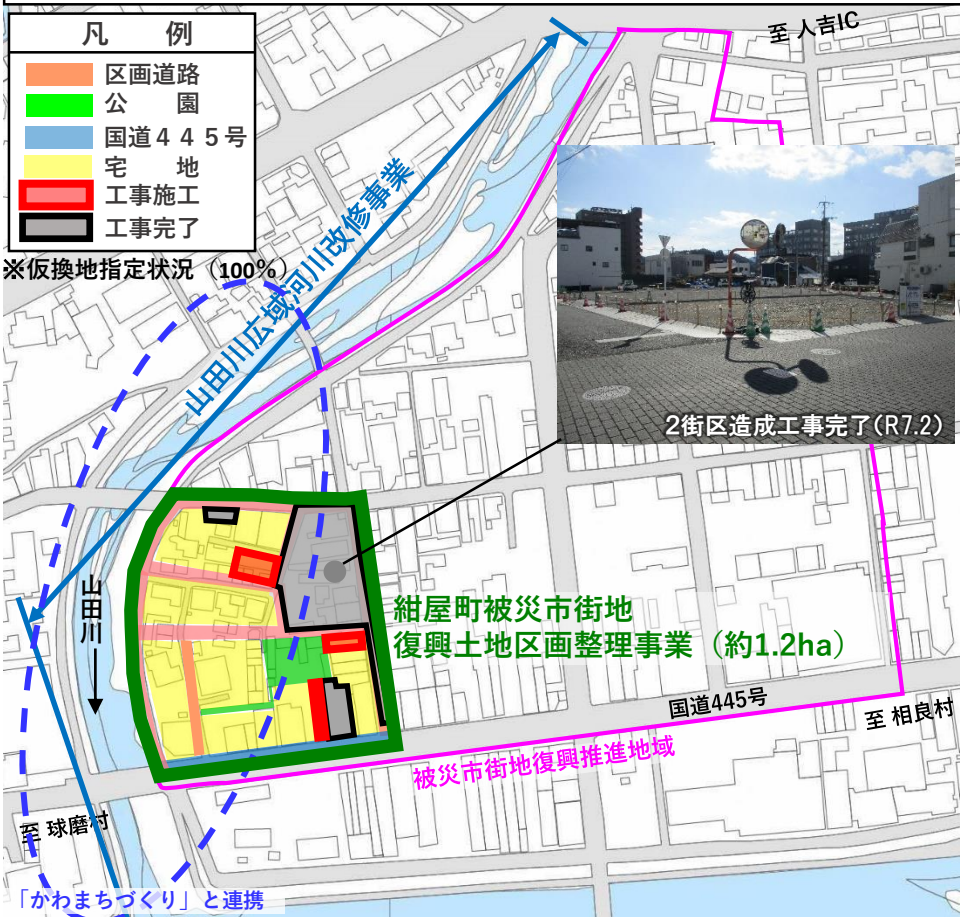
○土地区画整理（市施行）、山田川河川改修（県施行）及び“かわまちづくり”の一体的な整備により中心市街地の賑わいを創出し、被災市街地の復興を推進。

【令和7年度の取組み】

○土地区画整理は、令和7年3月末までに全ての仮換地指定を完了。引き続き、**移転補償や造成工事を推進**。
○山田川河川改修の全体施工計画策定、建物調査及び用地取得を進め、並行し**土地区画整理の進捗に応じて工事に着手**。

＜事業名・予算＞

○紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業・218,600千円 ○山田川広域河川改修事業・250,000千円



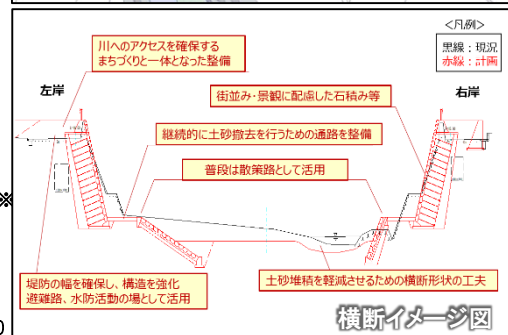
紺屋町被災市街地復興 土地区画整理事業	
事業主体	人吉市
面 積	約1.2ha
施行期間	R4年度～R10年度
事業費	約17.6億円
進捗率	30.1% (事業費ベース)

山田川広域河川改修事業	
事業主体	熊本県
延 長	0.5km
施行期間	R4年度～R15年度※
事業費	約17.6億円
進捗率	7.1% (事業費ベース)

※土地区画整理事業隣接区間の整備期間はR4～R10

【ロードマップ】

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
事業						
土地区画整理		造成工事			換地処分	
河川改修			建物調査・用地交渉			
			工事（工事着手は土地区画整理事業の進捗による）			



③中川原公園における災害復旧の実施

土木部

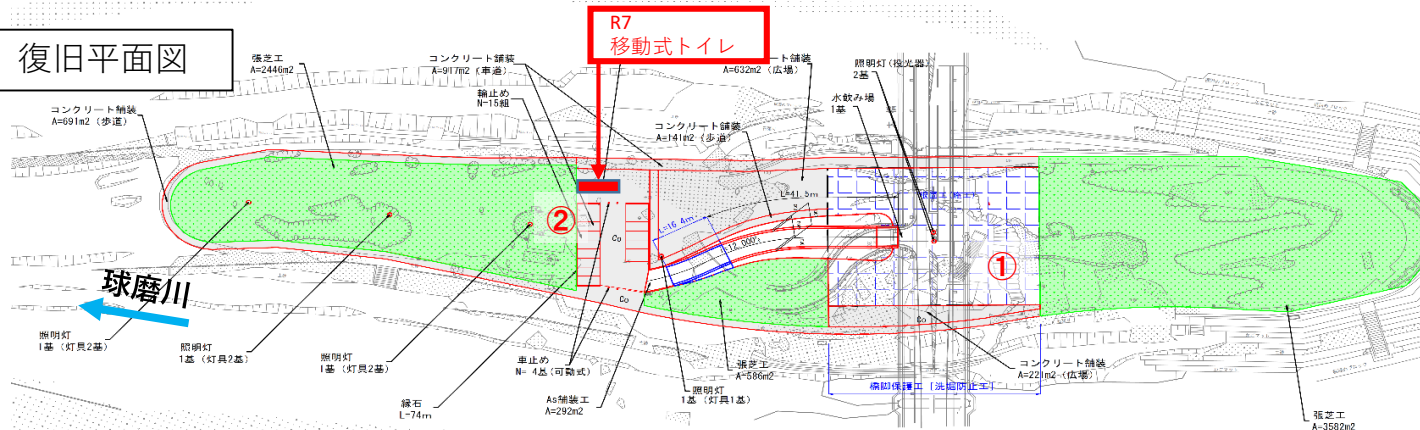
【取組みの概要】

○令和2年7月豪雨災害で被災した人吉市の中川原公園における災害復旧事業を実施（市施工）。

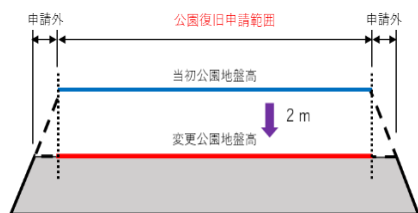
【令和7年度の取組み】

○令和7年度は残る移動式トイレを設置し、中川原公園の災害復旧事業を完了。

復旧平面図



復旧概念図（地盤下げ）



【ロードマップ】

R6年度 R7年度

公園復旧工事

【取組みの概要】

- 相良村では、川辺川の魅力を村内外に発信し、川辺川を中心とした周辺環境・地域資源を活かした地域活性化・関係交流人口の増加につなげるため、廻地区で県の河川整備と連携し、拠点施設の整備を進めている。
- そのメインの建物となる交流拠点施設について、アートポリス事業で住民参加型の施設整備を支援する。

【令和7年度の取組み】

- 地域住民等を対象としたワークショップ(意見交換)やイベント・見学会の実施
- アートポリスのSNS (Facebook、Instagram、X) 等を活用した情報発信
- 設計者や施工者との協議時に村職員への技術的な支援・助言

<事業名・予算>

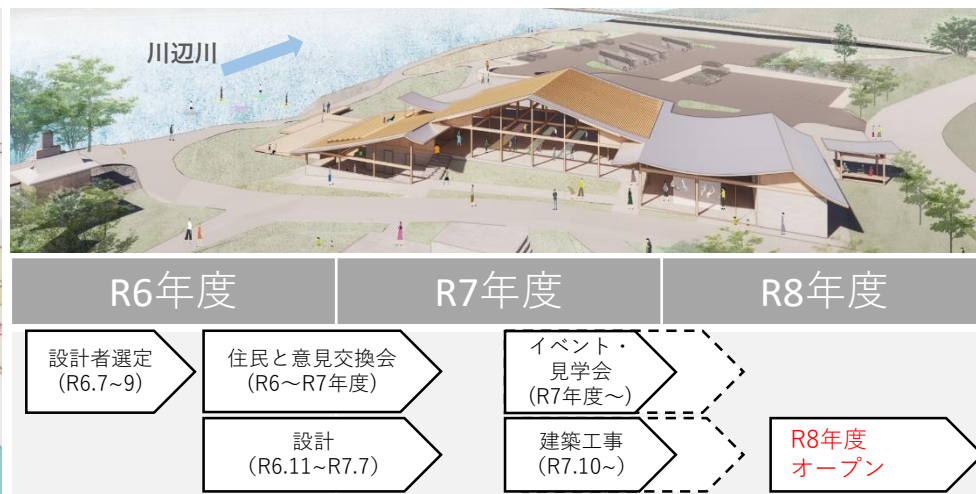
- ・くまもとアートポリス推進費(単県) : 9,525千円 ※他事業も含む予算



R7.1.16 ワークショップ 状況



プロポーザル時のイメージパース



●交流拠点施設

(交流スペース、多目的スペース、炊事場、事務所、シャワールーム、トイレ等)

「八代警察署坂本駐在所」再建

警察本部

【取組みの概要】

- 令和2年7月豪雨により甚大な被害を被った「八代警察署坂本駐在所」について、地域住民の安全安心を守るための拠点として再建し、機能回復を図るもの

【令和7年度取組み】

- 他の公共施設、生活サービス施設を集約化した「八代市坂本支所等」の施設再建計画に伴い、同敷地内に「八代警察署坂本駐在所（仮称）」を再建
- 令和6年度中までに駐在所新築工事設計を終え、令和7年度中に新築工事を完了予定

＜事業名・予算＞

- ・「警察施設災害復旧費」：71,574千円

【イメージ図】



【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
駐在所新築工事設計	駐在所新築工事	運用開始	



◆災害に強い
社会インフラの整備

国道219号等の早期復旧に向けた取組み

土木部

【取組みの概要】

○球磨川の流失橋梁（10橋）、国道219号及び対岸道路等（両岸延長約100km）の早期復旧に向け、国の権限代行により災害復旧事業を実施中。

【令和7年度の取組み】

○国道219号および対岸道路（国による権限代行）

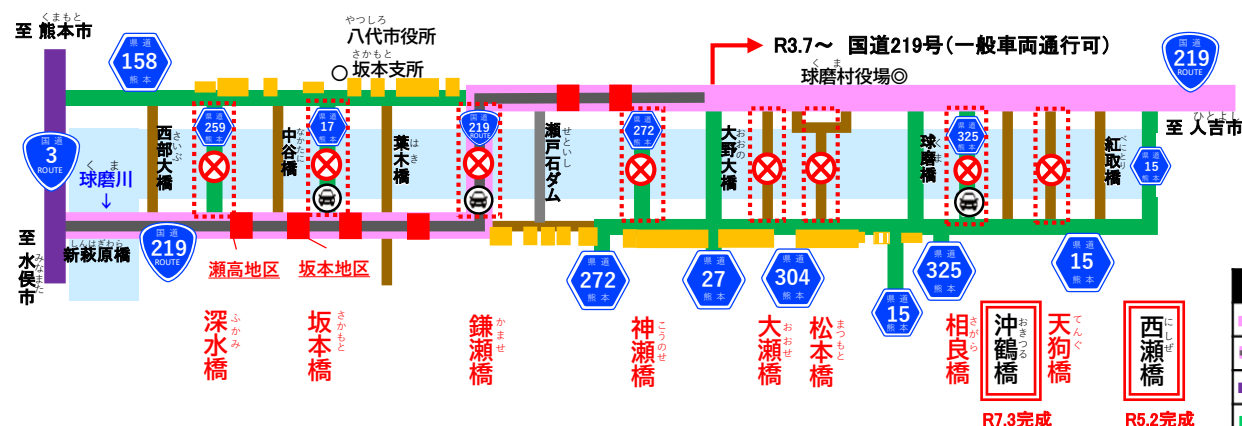
- ・『国道219号等の道路復旧方針』（※）に基づき、避難計画やまちづくり計画等を踏まえ、引き続き国・県・市町村が連携し、被災した道路護岸の復旧や嵩上げ工事など本復旧工事を推進。
- ・国道219号においては、**護岸復旧工事が概成した区間から順次嵩上げ工事を推進。**
- ・対岸道路においては、迂回路整備や本復旧工事を推進。

○橋梁（国による権限代行）

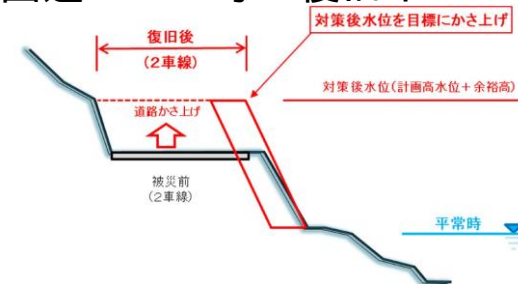
- ・流失橋10橋のうち2橋完成、**残る8橋の上部工工事を推進。**
（完成：西瀬橋（R5.2）、**沖鶴橋（R7.3）**）

（※）令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第9回）R4.3.24 P43参照

【国道219号等 復旧状況】



【国道219号 復旧イメージ】



凡例	～交通状況～
 	国道219号（通行可）
 	国道219号（通行止）
 	国道
 	県道
 	市町村道
×	流失橋梁
Ⓜ	仮橋設置（通行可）

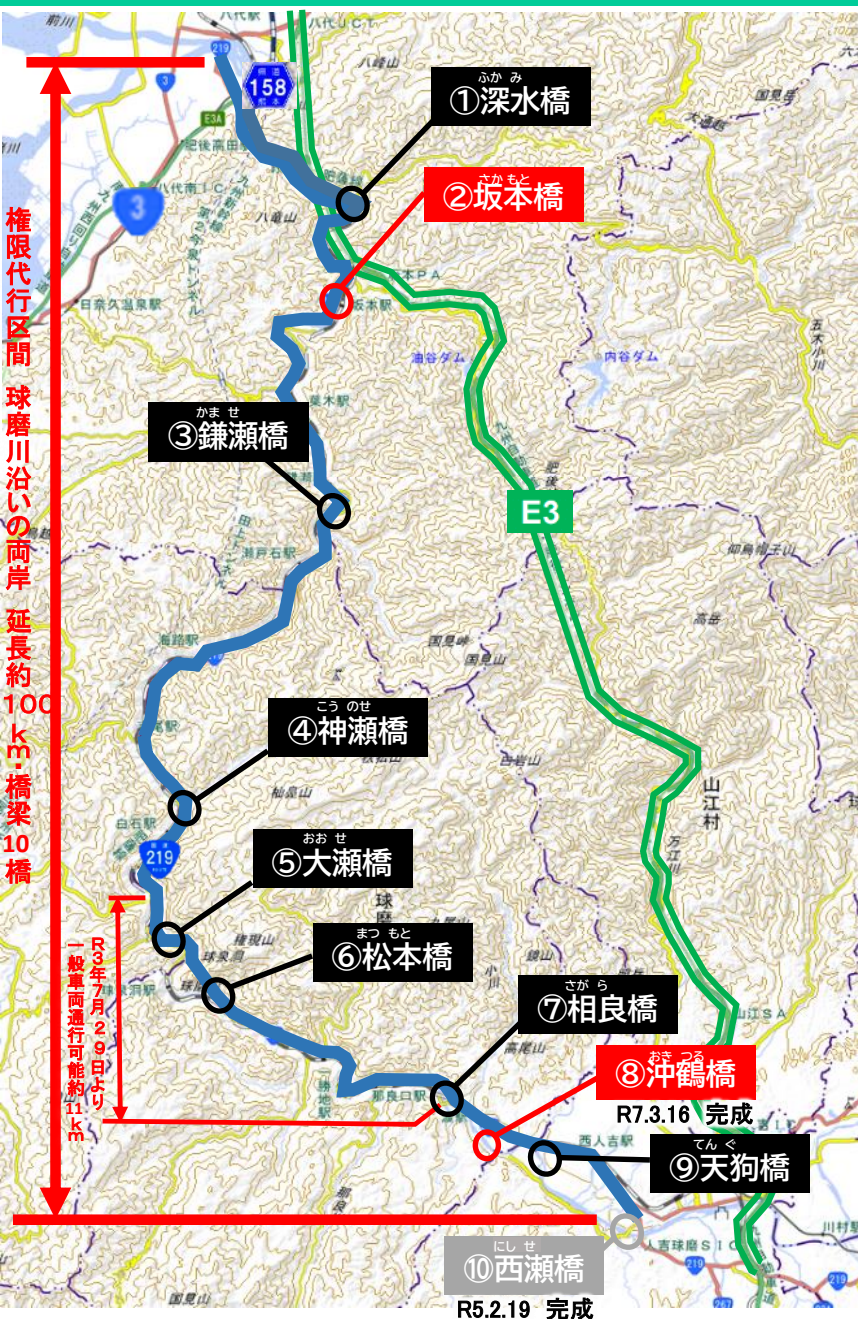
凡例	～復旧状況～
 	本復旧工事中（道路）
 	本復旧工事中（橋梁）
 	迂回路整備済（JR肥薩線活用）
 	迂回路整備中（JR肥薩線活用）

土木部



国道219号等の早期復旧に向けた取組み(橋梁①)

土木部



②坂本橋(主要地方道 坂本人吉線)



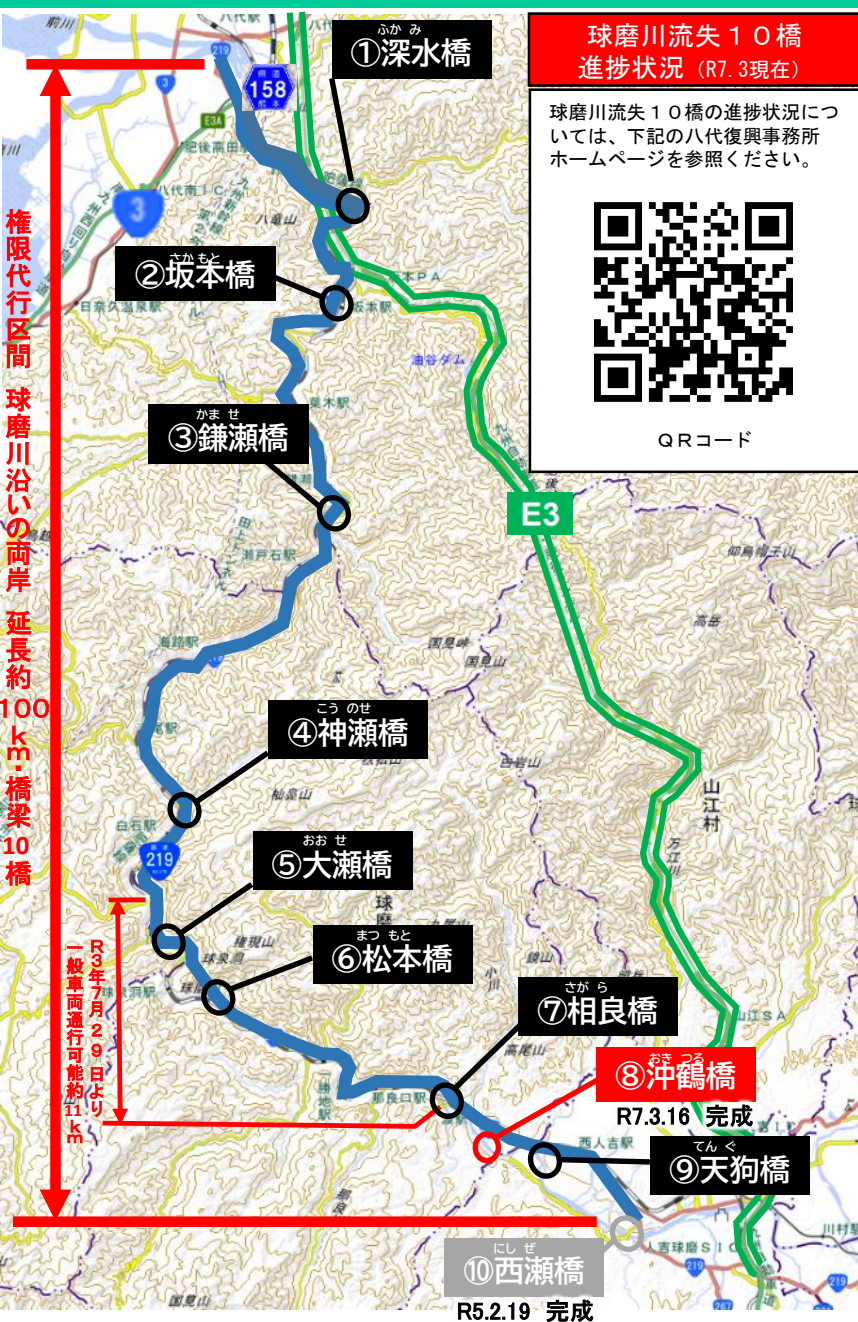
R7.2時点 上部工架設完了

⑧沖鶴橋(球磨村道 沖鶴線)



R7.3.16 完成

国道219号等の早期復旧に向けた取組み(橋梁②)



①深水橋(一般県道 小鶴原女木線)



③鎌瀬橋(国道219号)



⑤大瀬橋(球磨村道 大瀬吉松線)



⑦相良橋(一般県道 遠原渡線)



⑨天狗橋(人吉市道 中神大橋線)



②坂本橋(主要地方道 坂本人吉線)



④神瀬橋(一般県道 球磨田浦線)



⑥松本橋(球磨村道 松本大坂間線)



⑧沖鶴橋(球磨村道 沖鶴線)



⑩西瀬橋(主要地方道 人吉水俣線)



【取組みの概要】

- 令和2年7月豪雨により被災したくま川鉄道について、令和8年度前半の全線運行再開を目指し、災害復旧事業を実施。
- くま川鉄道は、通勤・通学等の日常生活を支える交通手段であり、また、地方創生、観光振興等に重要な役割を果たしており、上下分離方式の導入により復旧後の持続可能な運行を確保。

【令和7年度の取組み】

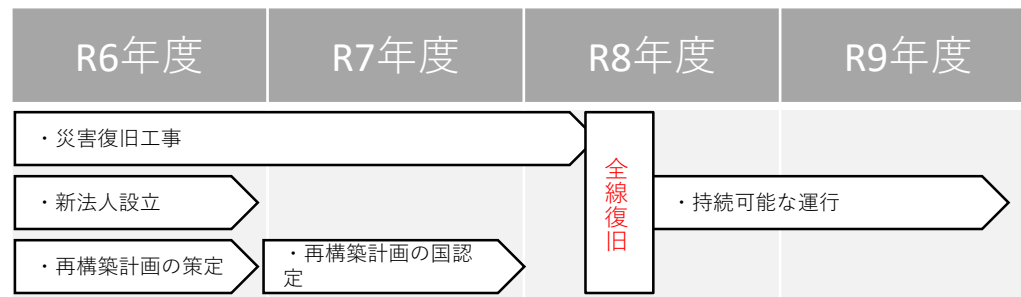
- 国の「特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業」を活用し、球磨川第四橋梁の架替えや人吉温泉駅～肥後西村駅間の軌道復旧等の復旧工事を実施。

＜事業名・予算＞

- ・くま川鉄道災害復旧支援事業（国1/2, 県1/4, 市町村1/4）：150,000千円



【ロードマップ】



【取組みの概要】

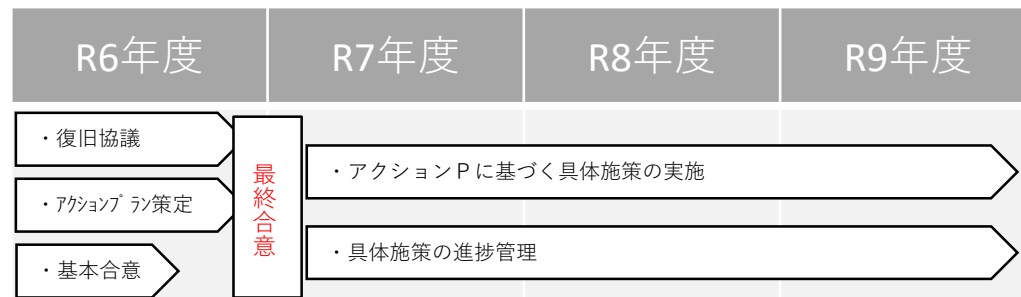
- 令和2年7月豪雨により被災したJR肥薩線について、川線（八代～人吉間）の鉄道復旧を目指す。
- 令和6年4月4日に県とJR九州間で「JR肥薩線（八代～人吉間）の鉄道での復旧に関する基本合意書」を締結。「JR肥薩線復興アクションプラン」を策定し、令和6年度末にJR九州との最終合意を目指す。

【令和7年度の取組み】

- 「JR肥薩線復興アクションプラン」の具体施策の進捗を管理する組織等を設置
 - 「JR肥薩線復興アクションプラン」に基づき、復旧に向けた機運醸成・マイルール意識醸成を図る取組みを実施
- ＜事業名・予算＞
- ・JR肥薩線復興アクションプラン推進事業（単県）：1,439千円



【ロードマップ】



◆観光を軸とした
創造的復興の実現

【取組みの概要】

- 令和2年7月豪雨で被災した人吉・球磨地域の宿泊者数はコロナ前の水準を回復しておらず、**重点的な誘客強化が必要。**
- JRグループ等と連携し、**令和8年夏に国内最大級の観光キャンペーン「熊本デスティネーションキャンペーン(DC)」を開催し、豪雨被災地域をはじめとした県内全域への誘客を図る。**

【令和7年度の取組み】

- 令和8年夏のDC開催に向けて、熊本の観光素材を紹介して旅行商品造成を促すため、8月末に全国宣伝販売促進会議を開催。
- また、2次交通アクセス対策やおもてなし対策等の受入体制整備を図る。

<事業名・予算>

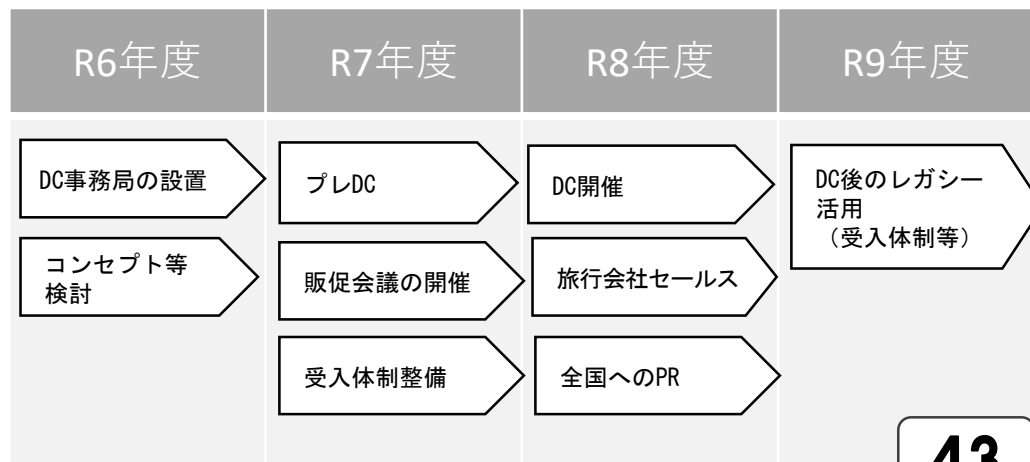
- ・観光誘客プロモーション推進事業：241,670千円

※県全域での予算



前回の全国宣伝販売促進会議の様子(2018年8月)

【ロードマップ】



【取組みの概要】

- TSMCの熊本進出というチャンスを活かし、本県における最重点市場である台湾からのインバウンドの誘客を強化するため、台湾に特化した取組みを実施。
- 台湾の市場特性を捉え、観光レップ（現地代理人）の設置や教育旅行による青少年交流により、本県への台湾インバウンドの誘客効果の最大化を図る。

【令和7年度の取組み】

- 県内事業者等が台湾旅行会社と商談できる機会の創出や、台湾の一般消費者に対して県内市町村等と連携してPRする機会の創出など、地域と連携した誘客の実施。
- 台湾の同駅名友好提携の「おかどめ幸福駅」の認知度向上のためのプロモーションの実施

＜事業名・予算＞

- ・「台湾インバウンド誘客強化事業」：23,500千円 ※県全域での予算



旅行会社による県内視察の様子（おかどめ幸福駅）

【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
旅行会社へのセールス活動、商談会等の開催 台湾の一般消費者に向けた情報発信			
教育旅行受入体制構築			

【取組みの概要】

- 地域資源やアニメなどの観光コンテンツを活用した賑わいを創出。
- 地域住民等と連携し、地域に根差す歴史・自然等を活用した観光資源への磨き上げを実施。

【令和7年度の取組み】

- 観光コンテンツを活用した球磨川流域での年間を通したイベントの実施により、県外からの誘客を促進し、地域で自走していくための仕組みを検討。
- 地域の歴史・自然等を多角的に調査し、それらを観光資源へ磨き上げる取組みを実施。



<自然観察会の様子>

<事業名・予算>

- ・「マンガ県くまもと」構想推進事業：19,661千円（うち一部）
- ・Kumaラボ（コンテンツラボ）運営事業：6,000千円（うち委託料5,000千円の1/2国）
- ・博物館等施設の文化観光推進事業：5,210千円（うち事業費4,818千円の1/2国）



【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
【博物館】 取組みの方向性の検討	調査研究（歴史・自然等の価値の再発見）		
	エコツーリズムマップの作成		
【コンテンツ】	エコツアー等の実施		
	地域と連携した周遊施策の取組み・地域で自走していくための仕組みづくり		

【取組みの概要】

- 500年の歴史や伝統、文化を誇る球磨焼酎の多様な魅力の発信による新たなファンの獲得。
- 球磨焼酎酒造組合等の関係団体と連携し、都市圏の百貨店や飲食店での球磨焼酎フェアなどを通じた新たな販路の開拓・拡大。
- 蔵元の商品開発や国内外の展示会・コンペティションへの出展等の取組みへの支援

【令和7年度の取組み】

- 都市圏の百貨店や飲食店等と連携した球磨焼酎イベントの実施
 - 球磨焼酎の熊本県内での需要喚起に向けたプロモーション・イベントの実施
 - 球磨焼酎酒造組合等の関係団体が実施する、新たな販路開拓やプロモーション、蔵元が行う有料体験などを活用した蔵ツーリズムの誘客促進に向けた取組みの支援
 - 蔵元が行う商品開発や海外市場調査、国内外の展示会やコンペティション等への出展支援
- <事業名・予算>

・球磨焼酎リブランディング事業：42,000千円（うち、事業費40,000千円の1/2国）



日本の「伝統的造り」のユネスコ無形文化遺産登録を契機とした国内外プロモーション



【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
球磨焼酎の多様な情報発信			
球磨焼酎フェアなどの販路開拓・プロモーション			
球磨焼酎酒造組合等の関係団体、蔵元への支援			

**◆地域の特色を活かした
産業活性化と雇用の創出**

【取組みの概要】

- 現場の即戦力となる人材の確保・育成を目的として、「くまもと林業大学(長期課程)」において、県北校と県南校の2校体制で200日間の研修を実施
- 林業大学校の魅力を向上させ、より多くの人材を確保・育成することを目的に、検討委員会を設置し、**県南校の機能拡充の方向性等を検討**
- 五木村内の県有林等をフィールドに、以下の**先進的な林業施策の導入・実証等を実施**
 - ・低コスト造林技術や先進的な架線集材等に関する実証、研修会の開催
 - ・地域が一体となった森林管理の仕組みや保全すべき森林エリアの設定方法等の検討



検討委員会の開催状況

【令和7年度取組み】

- 令和6年度の検討委員会結果を踏まえ、**林業大学校の機能拡充の「基本構想」の策定**等に係る調査を実施
- 花粉の少ないスギ苗木等の成長量や低コスト造林技術の有効性、地域が一体となった森林管理の実証調査等(継続)

＜事業名・予算＞

- ・くまもと林業大学校人財づくり事業 166百万円(うち機能拡充検討分 7百万円)
- ・五木村グリーン成長加速化総合対策事業 9百万円



低コスト造林技術の実証・研修

【ロードマップ】



【取り組みの概要】

- 森林空間を健康、観光、教育等多様な分野で活用する「森林サービス産業」の地域全体における展開
- 森林環境教育を通じた都市農村交流による関係人口創出

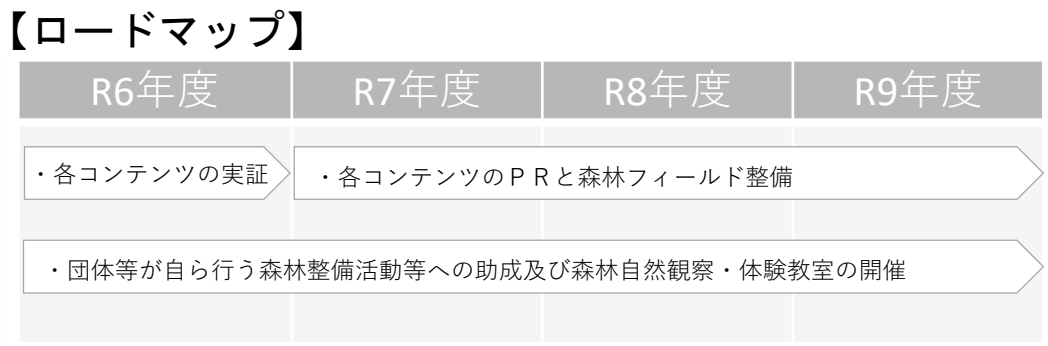
【令和7年度の取り組み】

- 人吉市、あさぎり町、五木村、球磨村、八代市、芦北町の各団体が展開している森林サービス産業のPRと森林フィールド整備への助成
- 団体等が自ら行う森林整備活動への助成及び森林自然観察・体験教室の開催

＜事業名・予算＞

- ・森林サービス産業創出推進事業：4,335千円
- ・未来につなぐ森づくり事業(単県)：52,723千円の内数

市町村	取組内容
人吉市	ジビエ活用プラン
あさぎり町	ビハ公園を中心としたあさぎり振興プラン
五木村	森林サウナ、E-BIKE体験型プラン
球磨村	森林サウナとサウナ飯を核とした球泉洞観光事業復興プラン
八代市	五家荘の森林トレッキングプラン
芦北町	森林空間フットパスと心理療法体験プラン



【取組みの概要】

○県全体の均衡ある経済発展と県南地域の令和2年7月豪雨からの早期復興のため、くまもと県南フードバレー構想の更なる推進と経済効果をもたらす企業の農業参入を推進。

【令和7年度の取組み】

○県南フードバレー構想(ステージ2)の推進による、**食品関連企業の誘致強化と地場企業の育成。**

○市町村を対象とした企業の農業参入に係る受入体制の整備

(セミナー開催、個別フォローアップ、農業関連企業との交流会など)

<事業名・予算>

- ・フードバレー構想推進事業(17,115千円)
- ・フードバレーアグリビジネスセンター推進事業(25,841千円)
- ・地域未来モデル事業(農林水産分野124,273千円)
- ・企業の農業参入トータルサポート事業(25,699千円)
- ・農業参入受入体制整備事業(10,317千円)

【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
くまもと県南フードバレー構想の推進			
食品関連企業の誘致と地場企業の育成			
市町村の受入体制整備			
企業の農業参入・定着支援			



市町村を対象としたセミナー

新規県営工業団地(八代市事業区)の整備

商工労働部

【取組みの概要】

- 令和3年11月に、半導体受託生産世界最大手の台湾TSMCの熊本進出が決定以降、県内への企業進出が相次ぐ中、県南地域にも新たな企業進出の受け皿となる工業団地を整備。
- 八代地域のポテンシャルを活かした食品関連企業、半導体関連企業など、地元の雇用確保や地域の活力につながる企業を積極的に誘致していく。**

【令和7年度取組み】

- 用地買収、実施設計 等

<事業名・予算>

工業団地施設整備事業（単県、特別会計）：2,976,192千円（※菊池市事業区分を含んだ金額）

<場所>

八代地岡町、興善寺町及び千丁町吉王丸（県道246号（千丁停車場興善寺線）沿線）

<規模>

約25ヘクタール

【イメージ図】



【ロードマップ】



【取組みの概要】

○県南地域への企業誘致を促進するため、企業の現地視察費の一部支援や既立地企業に対する人材確保支援を行うなど、企業誘致活動を強化。

【令和7年度の取組み】

- 企業の現地視察費の一部支援と、企業と学校をつなぐ高校生の工場見学ツアーを実施。
- 市町村が主体的に関わり、企業が連携して行う企業PRや職場環境の改善等の人材確保を目的とした取組みへの支援及び県南地域での就職を検討する高校生等を対象に職場体験研修を実施。
- IT・コンテンツ系企業の誘致促進のため、市町村からの提案を踏まえ、展示会への出展やサテライトオフィスを活用した企業研修の誘致を実施。

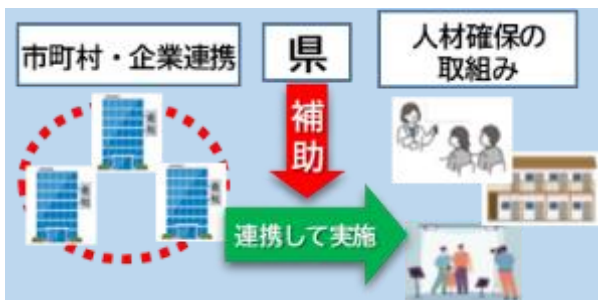
＜事業名・予算＞

・県南地域企業誘致促進事業（一部交付金） 31,000千円



工場見学ツアー

人材確保への
取組み支援



【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
・視察費の一部支援、高校生の工場見学ツアー			
		・既立地企業の人材確保への取組み支援、職場体験研修実施	
		・展示会への出展、企業研修の誘致	

【取り組みの概要】

- 球磨地域振興局に地域おこし協力隊（県会計年度任用職員）を配置し、人吉・球磨地域の広域的な課題である「人材確保」及び「観光振興」に取り組む。
- 協力隊員が地域に定着し、将来的に地域おこしの核となるよう支援・育成するとともに、「移住してきた協力隊員がさらに移住者を呼び込む」好循環を生み出せるような仕組みづくりに取り組む。

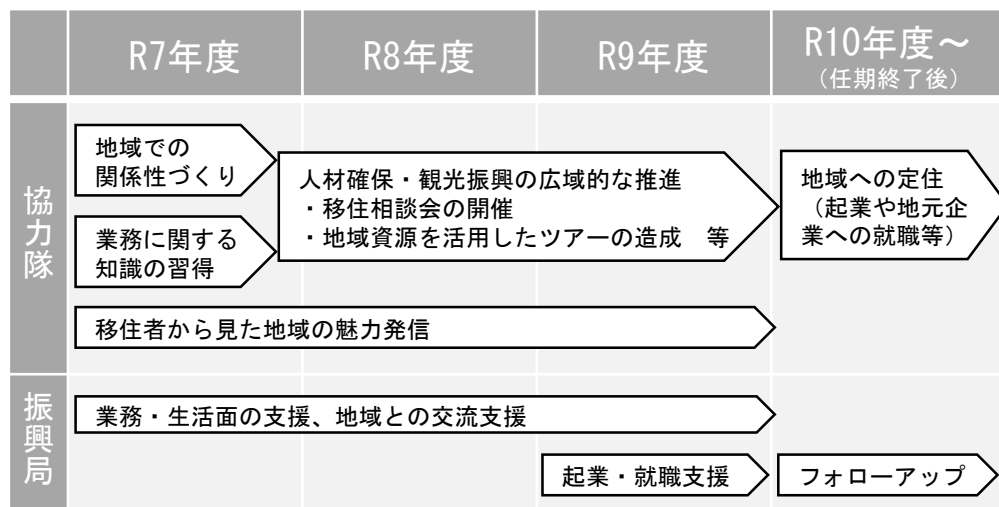
【令和7年度の取り組み】

- 移住相談会の開催や、地域資源を活用したツアーの造成等、人材確保・観光振興を広域的に推進する。
- 球磨地域振興局は、協力隊と地域とのつなぎ役となり、地域との関係性構築を支援するとともに、勉強会の開催等により専門知識の習得を支援。

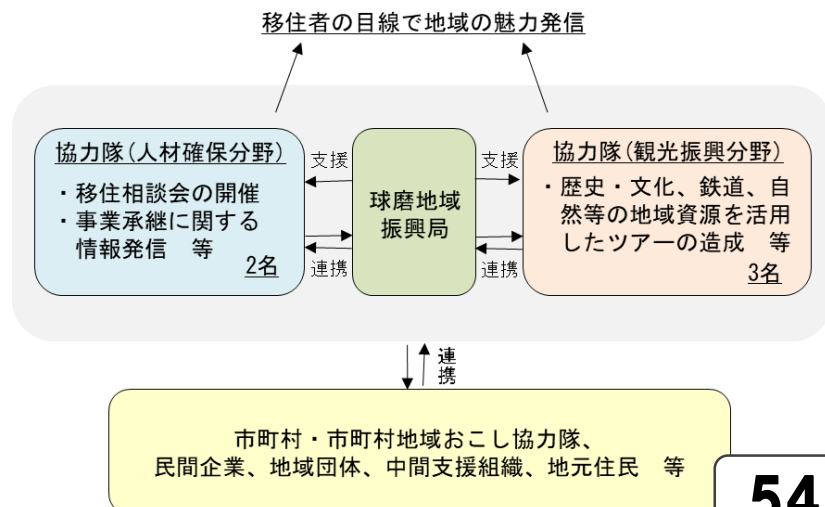
＜事業名・予算＞

- ・人吉・球磨地域未来創造人材づくり事業（単県）：23,922千円

【ロードマップ】



【イメージ図】



◆若者が定着・還流する
環境の創造

「若者が定着・還流する環境の創造」に向けた取組み

【取組みの概要】

- ①県立高校の魅力化や教育活動における実践的な学びの充実、質の高い教育によるグローバル人材の育成などを推進し、**若者が魅力を感じる学びの場の創出**に取り組む。
- ②半導体関連事業を中心とした本県の産業全体への生徒の理解促進や就職支援、産学連携の充実などにより、**学校と地域をつなぐ仕組みづくりやキャリア教育**に取り組む。

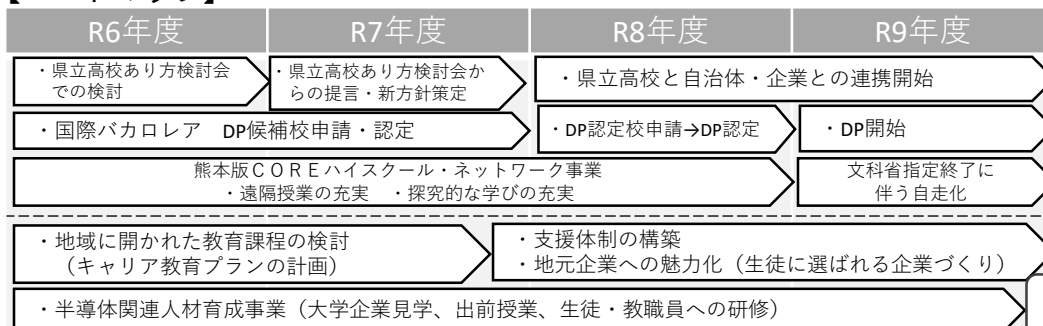
【令和7年度取組み】

- ①県立高校魅力づくりのための**地域との協働体制（コンソーシアム）の先導モデル構築**や、八代中学校・高校における**国際バカロレア（IB）の導入推進**（学習環境整備、ワークショップ）に取り組む。
また、**ICT機器を活用した遠隔授業**（球磨中央高校⇄小国高校）を実施し、**ネットワーク構成校**（第一高校、小国高校、牛深高校、岱志高校）と**連携した地域課題解決に向けた探究的な学び**に取り組む。
- ②県内企業に興味を持つ生徒を増やすため、**「くまもとキャリアサポーター」による高校生への就職支援**や、**マイスターハイスクール事業をとおした高校生と県内企業が出会う機会の創出**に取り組む。
また、高校生による**大学や企業の見学**、**企業の技術者による高校への出前授業**、半導体関連教育施設等での**高校生への先端研修**を実施する。

<事業名・予算> いずれも県全域での予算

- ①・熊本版COREハイスクール・ネットワーク事業（国指定）：7,369千円
・地域と一緒に！キラリと光る県立高校魅力づくり事業（単県）：24,000千円
・世界に羽ばたくグローバル人材育成事業（単県）：50,633千円
- ②・高校生キャリアサポート事業：95,075千円、県立高校キャリア教育充実事業：22,763千円
・県立高校半導体関連人材育成事業：36,180千円

【ロードマップ】



地域意見交換会の様子

国際バカロレアの授業

半導体の実習

【取組みの概要】

○若者の県内就職と定着、県内企業等の将来の中核を担う人材確保のため、県と制度に参加する県内企業等（参加企業）が2分の1ずつを負担し、県内に就職する若者の奨学金返還や赴任費用等の支援を実施。

○長期間にわたって手厚く奨学金返還を支援することで、若者の県内への定着に繋げる。

【令和7年度の取組み】

○県内企業の登録増加に向け、球磨川流域に所在する企業に対し本制度の周知を行い、登録の働きかけを行う。

○学生の登録者の増加に向け、引き続き県内大学や本県と就職支援協定を締結している首都圏・関西圏等の大学、九州各県の大学等に広く周知する。

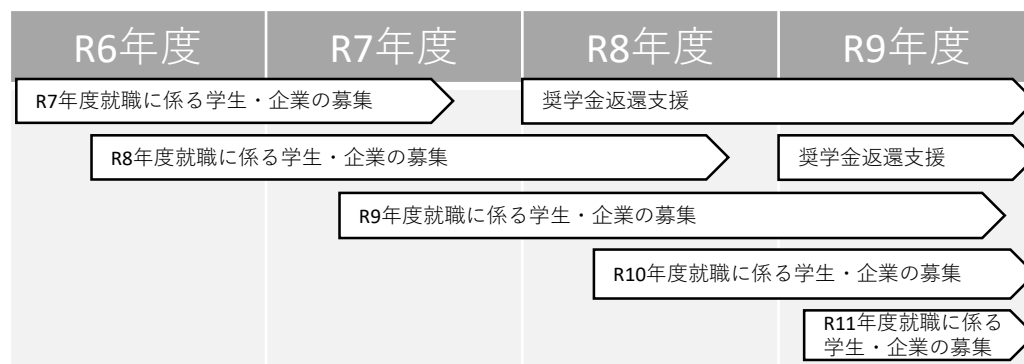
＜事業名・予算＞

・ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート事業：56,634千円 ※県全域での予算

【イメージ図】



【ロードマップ】



【取組みの概要】

○県内の事業者が減少を続ける中、商工団体、市町村、熊本県事業承継・引継ぎ支援センター、金融機関等の関係団体などと連携し、中小・小規模事業者の創出(創業支援)・継承(事業承継)・成長(事業者の成長支援)を図ることで、地域の経済と雇用を維持・発展させるもの

【令和7年度の取組み】

○創業・事業承継等の周知・啓発による気運醸成や後継者の育成、事業承継希望者同士のマッチングによる円滑な事業承継等の取組みを支援

＜事業名・予算＞

- ・サステナブル地域経済創出支援事業 : 11,000千円 ※県全域での予算
- ・事業承継・後継ぎ支援事業 : 16,500千円 ※県全域での予算
- ・事業承継加速化推進事業(単県) : 2,865千円 ※県全域での予算

【イメージ図】

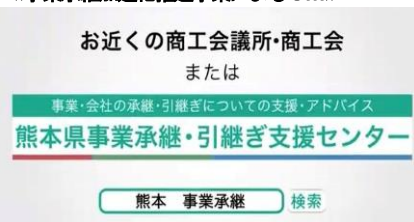
＜商工団体と市町村等の連携協定(人吉球磨)＞



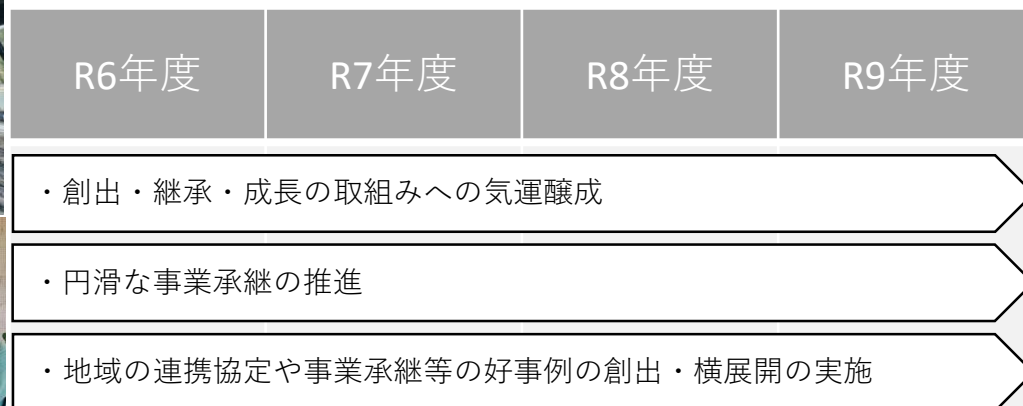
＜芦北町での事業承継事例＞



＜事業承継加速化推進事業によるCM＞



【ロードマップ】



【取組みの概要】

- 令和4年7月に球磨地域振興局に設置した「人吉・球磨地域復興支援人材確保ワンストップ就労相談窓口」を通じて、引き続き、若者の地元定着促進に取り組む。
- 県南地域の企業についても、ブライト企業を認定し、その魅力を発信するとともに、若者や女性等とブライト企業をはじめとした魅力ある県内企業との出会いの機会を創出する。

【令和7年度の取組み】

- 若者へのきめ細かな就労支援を行うほか、中学・高校等での出前講座を通じて、中高生やその保護者等に地元就職のメリットや地元企業の魅力を伝える。
- 県南地域の企業にブライト企業認定制度を周知し、認定申請を促す。
- 動画やガイドブックを制作し、若者や女性等にブライト企業をはじめとした県南地域の企業の魅力を知ってもらうとともに、県南地域の企業との出会いの機会として合同企業説明会等を開催する。

＜事業名・予算＞

- ・熊本県地域無料就労相談窓口設置運営事業（単県）：51,881千円 ※県全域での予算
- ・熊本県ブライト企業推進事業（単県）：4,761千円 ※県全域での予算
- ・くまもと県内就労応援事業（単県）：23,550千円 ※県全域での予算



出前講座の様子



ブライト企業認定式の様子



動画のポスター

【ロードマップ】

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
・若者への就労支援、出前講座の実施			
・ブライト企業の認定、魅力の発信、出会いの機会の創出			

プランの実現に向けて

事業概要

球磨川流域復興基金（全38事業）

- ① 被災者の生活支援（7事業）
- ② 被災宅地の復旧支援（2事業）
- ③ 住まいの再建（6事業）
- ④ 公共施設、地域コミュニティ施設等の復旧支援（13事業）
- ⑤ 産業振興（4事業）
- ⑥ 防災・減災対策（2事業）
- ⑦ 復興まちづくり支援（4事業）

支援

【参考】交付実績

R6: 462,254千円（速報値）
R5: 284,716千円
R4: 588,422千円
R3: 595,550千円
R2: 234,504千円

流域市町村

被災者
被災事業者

主な実績

※このほか、復興まちづくり拠点施設の整備をはじめ幅広い支援を実施



木造仮設住宅利活用等支援事業
（八代市古閑中再建住宅）



豪雨災害の記憶・教訓伝承推進事業
（人吉市令和2年7月豪雨犠牲者追悼式）

広域本部・地域振興局からの報告

県南広域本部

八代地域の復旧・復興に向けた地域の取組み(県南広域本部①)

坂本支所周辺の整備

[取組みの概要]

○八代市において、令和7年未完成に向けて整備中。

[R7年度の取組み]

○引き続き、八代保健所において、同支所内での「八代市立坂本診療所(仮称)」の開設に向けた手続き等に係る支援を行う。

<八代市立坂本診療所 概要>

- 診療開始日 令和8年3月 ※予定
- 診療日時 週2日(火・木曜日) ※予定
午後1時～5時
- 診療科目 内科
- 委託先 八代市医師会

道の駅坂本の再整備

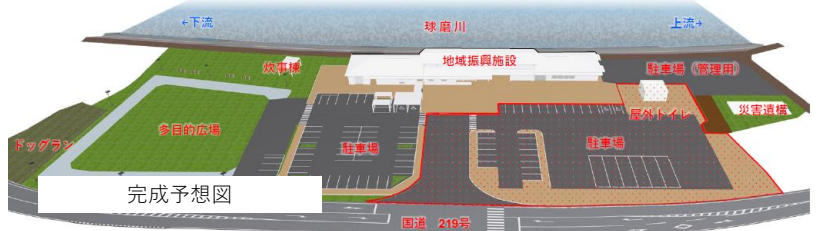
[取組みの概要]

○令和9年の供用開始に向けて、国・県・市が連携して実施中。

[R7年度の取組み]

○4月から国によるかさ上げ工事に着工予定。

○また、休業中の仮設店舗「さかもと復興商店街」(R7年2月解散)の事業者には引き続き寄り添いながら支援を行う。



かわまちづくりによる拠点づくり

[取組みの概要]

○「球磨川・八代地区かわまちづくり協議会」において、国・市と連携し、球磨川流域の拠点づくりを推進。

○新萩原橋地区については、R4年度から供用開始した遙拝八の字広場の利活用促進(イベント)に係る意見交換等を実施。

○坂本地区については、豪雨災害前に策定された当初計画を見直し、復旧復興事業と連携したアクションプラン(※)を策定。

※対象エリア：荒瀬ダムボートハウス跡周辺、道の駅坂本周辺、坂本駅周辺、水辺空間



写真：第9回球磨川・八代地区(新萩原橋周辺・坂本)かわまちづくり協議会資料より

[R7年度の取組み]

○新萩原橋地区については、遙拝八の字広場の継続的な利活用促進に向けた実証実験の検討を進める。

○坂本地区については、荒瀬ダムボートハウス跡の坂路等のハード整備と併せ、新たに設置する作業部会において、対象4エリアの利活用策の検討など、アクションプランに沿った取組みを進める。

八代地域の雇用創出・交流人口拡大に向けた取組み(県南広域本部②)

企業の人手不足の解消に向けた取組み

【取組みの概要】

○令和7年2月に、県南3局が連携し、人手不足に悩む地元企業と県南地域での就労希望者をマッチングする就職フェアを昨年度に続き開催。

○本年度は上記フェアと併せて、県外の移住検討者を対象としたオンラインUIターン説明会を同時開催。

<就職フェア実績>

- ・ R5年度：企業数42社/求職者182名 → 9企業に9名が就労
 - ・ R6年度：企業数36社/求職者55名 → 2企業に2名が就労※
- ※今後も就労情報を継続調査
※R7.2月末時点

<UIターン説明会実績>

- ・ R6年度：17名



就職フェアの様子 (R7.2.9開催)



UIターン説明会の様子 (R7.2.9開催)

【R7年度の取組み】

○県南地域の喫緊の課題である企業の人手不足の解消に向けた取組み(例:就職フェア等)を継続して実施

○八代青年会議所等の地域団体が実施する若者の地元定着に係る取組み(例:高校生向け就職イベント等)への支援

新たな観光需要の創出に向けた取組み

【取組みの概要】

○八代及び水俣・芦北地域を日常的に国内外からサイクリストが訪れる地域とするため、官民が連携し、ハード・ソフト両面の取組みを実施。

- ・ハード：矢羽根型路面標示等の設置等
- ・ソフト：八代と水俣を結ぶルートを自転車及びおれんじ鉄道(貸切)で往復するサイクルイベントを開催(R5～)し、R6年度は台湾からの12名を含む169名が参加。



サイクルイベント「くまもと★みなみおれんじシーサイドライドの様子 (R6.12.7開催)



矢羽根型路面標示の例



台湾からの参加者による記念撮影

【R7年度の取組み】

○サイクルツーリズムの更なる推進と地元定着に向けた取組みの強化

- ・計画的なハード整備の推進
- ・当本部がR5年度から開催しているサイクルイベントについて、県及び関係5市町による実行委員会形式での開催(調整中)
- ・サイクリストの立ち寄り所となる施設を拡充するため、「サイクルステーション」及び「サイクリストにやさしい宿」の認定制度の推進

芦北地域振興局

地域の交流促進(芦北地域振興局①)

首都圏での市町・企業間交流イベント開催

・企業が企業を呼ぶ新たな契機とし、企業進出による移住者獲得やワーケーション等による交流人口の拡大を目指し、芦北町のサテライトオフィス入居企業等と連携し、首都圏で企業向け交流会を実施。



各自治体から当該自治体の
取組みの紹介



自治体・入居企業を交えグルー
プ毎に分かれ参加企業と討議

交流機会の創出等(夢チャレ補助金等による支援)

<芦北町>

- ・お試しワーケーション事業
- ・事業承継支援事業
- ・芦北町ビジネスコンテスト事業
- ・観光による賑わいづくり事業

<津奈木町>

- ・つなぎ型関係人口創出事業
- ・さかなクンを活用した地域魅力発信事業



事業承継セミナー

ビジネスコンテスト



さかなクンイベント

大学生との交流イベント



なりわい・産業の再生と創出(芦北地域振興局②)

サテライトオフィスへの企業立地等

- ・地域活性化に関する包括連携協定締結(芦北町)
- ・首都圏での交流イベントを実施
- ・水俣・芦北地域雇用創造協議会で「IT人材育成セミナー」を開催



IT人材育成セミナー



連携協定締結式

地域産業の再生支援

- ・地域産品による新商品開発、都市圏・海外向け販路拡大
- ・TSMC社内イベント「2025年貨大街」への出展
- ・あさり・アジアカエビ等水産資源の再生支援



TSMC社内イベント「2025年貨大街」



アジアカエビ放流効果の検証

地域産業の担い手確保

- ・高校生の就職支援(地元企業見学会・説明会等)
- ・果樹栽培の就農相談～研修～就農までの切れ目のない支援と優良園地の提供。県外からの就農者が増加。



地元企業見学会



新規就農希望者への就農相談対応

地域の賑わい創出

〇くまモンファーム事業

- ・くまモンと収穫や食の体験を掛け合わせた体験型旅行商品を販売

〇おれ鉄沿線つながるマルシェの開催

- ・鹿児島県北薩地域と連携し、肥薩おれんじ鉄道3駅(水俣・出水・阿久根)の駅前でイベントを実施。



いちご収穫体験イベント



おれ鉄沿線つながるマルシェ

球磨地域振興局

地域のチャレンジを応援(球磨地域振興局①)

夢チャレ補助金支援

○令和6年度地域づくり夢チャレンジ事業では、17事業を採択。管内市町村や民間団体の自主的な取組みを支援。

キッチンカーで行く！郷土レシピ出前講座(2024.6月～1月 計10回開催)

管内10市町村で各地域に伝わる郷土料理をテーマに開催。(延べ参加者数341名)



球磨神楽観覧会(2024.11.16、23、30開催)

球磨神楽の歴史など解説付き(有料)で開催。(延べ参加者数85名)



移住定住雇用に係る市町村担当者講座(2024.12.16開催)

移住定住策に係る市町村間の連携を後押し

○振興局の主催で管内市町村の移住定住及び雇用担当者を対象にワークショップを開催。人吉球磨地域全体での移住定住策をテーマに意見交換し、来年度の検討課題の洗い出しを行った。

各市町村から地域おこし協力隊を含む24名の移住定住・雇用担当者が参加



日台地域づくりサミット、活動報告会(2024.8.30、2025.3.16開催)

日台交流地域づくりを支援



○人吉市-台湾3大学-LTL(株)の連携協定及び日台のロータリークラブ連携による日台交流、地域づくり等を支援。

人吉球磨ロゲ～日本遺産スペシャルコース～(2025.3.20開催)

人吉球磨のサイクルツーリズムを推進



○振興局主催によりサイクルイベントを開催。市町村、国、県、関係機関で構成する人吉球磨サイクルツーリズム推進協議会を軸に地元の関係団体と連携し、サイクルツーリズムの普及を図る。

地域産業・雇用創出(球磨地域振興局②)

事業承継に係る広域連携支援に関する協定締結式 (2025.3.3開催)

○自治体や商工団体の他、事業承継に関する支援機関等22団体で連携協定を締結。広域的な支援体制を構築し地域一丸となって、若者が“残り、集う”持続可能な地域の実現に向けた取組みを進める。



くもと★みなみ就職×移住フェア (2025.2.9開催) 県南3 振興局共催

合同企業説明会 (2025.3.17開催) 人吉球磨雇用対策協議会+人吉球磨地域産業振興協議会 +球磨地域産業振興連絡会議+管内4 高等学校

○地域事業所の人材確保や若者の地域定着を図るため、関係機関と連携し企業説明会・就職フェアを実施。地域産業振興のため、引き続き事業所と人材のマッチングや雇用創出の取組みを進める。



「企業説明会in人吉」の様子 (R7.3.17)

ひごラボNEXT

○R3からJICA・市町村・県が共同で地域課題解決に取り組む「ひごラボ」について、R6年度からNEXTステージを始動。各市町村が特定テーマの深堀りを行うとともに、市町村が主体となって本取組を運営していく体制を構築していく。

(球磨川流域復興基金
交付金活用)

2025.1.27-29
県外研修
(島根県雲南市他)



地域のまちづくりの取組み

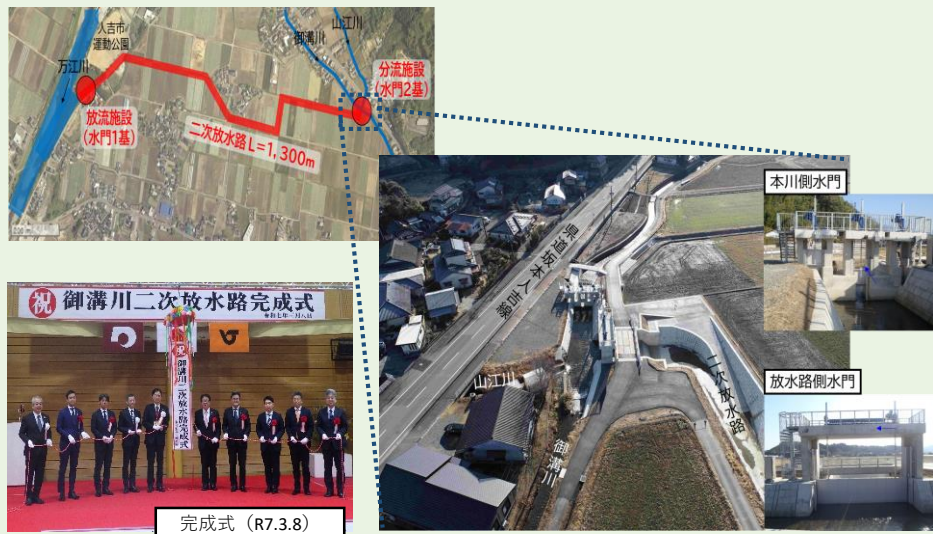
○人吉市では復興に向けた取組みを推進するため、復興まちづくりデザイン会議を開催。毎月、地域事業者や有識者、行政担当者で協議、まちなかの活性化策を取りまとめ。3月には社会実証実験やフォーラムを開催した。



緑の流域治水推進(球磨地域振興局③)

《御溝川(人吉市)》

- 御溝川では、人吉駅周辺を含む市街地の浸水被害を軽減するため、二次放水路の整備が完成。



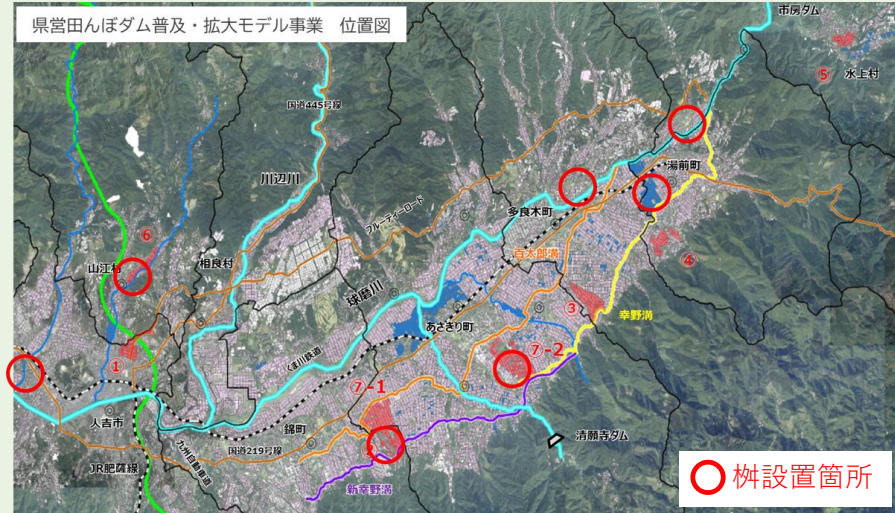
《田頭川(あさぎり町)》

- R 2 年 7 月豪雨で浸水被害があった田頭川において、全ての用地買収が完了し、下流より築堤工事に着手。



《田んぼダムの普及拡大》

- 球磨管内における R 7 年 3 月末までの取組み面積は689ha。(前年度から72haの増)
- うち機能分離型排水柵設置は37ha(なお、前年度までの取組み面積のうち排水柵が老朽化した箇所を更新を含むと84ha) ※機能分離型排水柵は県営モデル事業で設置。



R 6 年度実施面積 (柵数)	
人吉市	10.4ha (50箇所)
錦町 ※更新	16.4ha (88箇所)
多良木町	10.2ha (33箇所)
湯前町	7.4ha (36箇所)
水上村	9.3ha (60箇所)
山江村 ※更新	7.9ha (64箇所)
あさぎり町 ※更新	23.2ha (107箇所)
合計	84.8ha (438箇所)



(※更新) 排水柵が老朽化していた47ha

五木村・相良村振興の推進(球磨地域振興局④)

《県道宮原五木線（五木村）》

- ・ 県道宮原五木線椿工区では、急カーブや幅員狭小区間において、線形改良・拡幅、視距改良に向けた工事に着手。



《川辺川・国道445号（相良村）》

- ・ 下鶴・黒石地区では、遊水機能を有する土地の周囲堤工事に着手。
- ・ 平川・四浦東地区では、河川と道路事業が連携して、河川改修及び道路改良工事に着手。

